AIDEM
株式会社アイデム 人と仕事研究所
2017年6月29日発表

# 2018年3月卒業予定者の就職活動に関する 学生調査

2017年
6月1日状況
6月15日状況
(臨時調査)

Pick Up

## 内定獲得率
## 67.5%(6/15時点)

「育休取得したい」就活男子は
前年9.0ポイントUPの58.5%

**アイデム 人と仕事研究所**
WEBサイトでは、採用活動のヒントとなる情報を発信しています。
「就職活動に関する学生調査」「新卒採用に関する企業調査」
学生と企業の「今」がわかります
人と仕事 https://apj.aidem.co.jp/

お問い合わせ
▶広報担当／望月・栗木 ▶調査担当／岸川・古橋
03-5269-8780 kouhousitu@aidem.co.jp

AIDEM 株式会社アイデム 〒160-0022 東京都新宿区新宿1−4−10 アイデム本社ビル

©AIDEM Inc.

# 結　果　概　要

## 2018 就職活動に関する学生調査（2017年6月1日状況・6月15日状況）

## 進捗状況

**▶現在のステータス**

【主な活動】

「面接・試験段階」6／1時点：34.9%（前年比−8.2ポイント）
6/15時点：22.2%（前年比−10.0ポイント）

「内定獲得／就活継続段階」
6／1時点：30.2%（前年比+2.7ポイント）
6/15時点：23.3%（前年比−0.5ポイント）

「内定獲得／就活終了段階」
6／1時点：21.5%（前年比+3.1ポイント）
6/15時点：42.4%（前年比+6.9ポイント）

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「面接・試験段階」6／1時点：88.9%（前年比−2.7ポイント）
6/15時点：90.3%（前年比−2.9ポイント）

「内定獲得段階」（内定獲得率）6／1時点：53.6%（前年比+5.7ポイント）
6/15時点：67.5%（前年比+7.4ポイント）

**▶内定獲得状況**

内定獲得社数　6／1時点：平均1.9社（前年+0.1社）
6/15時点：平均2.3社（前年+0.1社）

**▶会社説明会参加回数**

平均21.4回（前回+3.6回　前年−0.5回）

**▶エントリーシート・履歴書提出企業数**

平均15.0社（前回+2.7社　前年+0.6社）

**▶応募企業数**

平均21.0社（前回+0.7社　前年−1.2社）

**▶面接選考企業数**

平均　9.4社（前回+3.1社　前年+0.8社）

**▶1日の活動時間**

「就職活動に費やす時間」
平均3.4時間（前回−1.0時間　前年−0.2時間）

「学業に費やす時間」
平均3.3時間（前回+0.4時間　前年±0時間）

**▶進捗感**

「予定よりも進んでいる」30.1%　「予定通り」……27.9%
「予定よりも進んでいない」42.0%

## 受験企業の状況

**▶グループワーク・ディスカッションでの役割**

グループワーク・ディスカッションを受けたことがある……78.5%

担うことが多い役割
「司会・ファシリテーター」25.3%　「書記」……14.0%
「タイムキーパー」……10.7%　「一般のメンバー」……50.0%

**▶新たに企業に応募する予定**

「ある」
6／1時点：62.1%　6/15時点：63.8%

興味なし【業界】にも応募
6／1時点：60.9%　6/15時点：57.1%

興味なし【職種】にも応募
6／1時点：52.8%　6/15時点：46.3%

**▶応募当初よりも志望度が上がった企業はあるか**

「ある」……77.3%

【志望度が上がった段階】
「面接・試験段階より前」48.1%　「面接・試験段階」……47.6%

【志望度が上がった理由】
1位「採用担当者・社員の態度が良かった」
2位「思っていたよりも、社員の雰囲気が合いそう」
3位「思っていたよりも、やってみたいと思える仕事だった」

**▶第一志望“以外”の企業への対応**

第一志望“以外”の企業から「自社が第一志望か？」と聞かれたことが「ある」78.2%
うち、92.4%が「『第一志望（群）』だと回答した」

**▶「オワハラ」経験**

「ある」……11.2%　前々年から2倍超

## 入社予定企業・内定企業の状況

**▶入社予定企業の従業員規模**

「299人以下」……27.5%　「300〜999人」……27.0%
「3,000人以上」……21.8%

**▶内定企業からの入社意思確認**

「内定承諾書等の提出」…54.8%　「口頭での確認」……35.7%
返答期限は「6月」が最多47.0%

**▶内定企業の満足度**

【満足しているもの】
1位「会社・社員の雰囲気」　2位「事業内容」　3位「採用担当者の人柄」

【物足りないもの】
1位「給与」　2位「年間休日数」　3位「勤務地」

**▶好印象な採用担当者**

1位「気遣い・丁寧な対応」　2位「笑顔」　3位「親身」

**▶育児諸制度の利用意向**

男性の利用意向
「育児休業」……58.5%　「時短勤務」……60.0%
「残業の免除」……58.1%

# I N D E X


● 調査概要 …… p. 4

1 就職活動の進捗状況 …… p. 5

2 内定獲得状況 …… p. 8

3 企業規模に対する志向 …… p. 9

4 自分のタイプ …… p.10

5 就職活動の進捗感 …… p.11

6 1日の活動時間 …… p.12

7 会社説明会参加回数 …… p.13

8 応募企業数 …… p.14

9 エントリーシート・履歴書提出企業数 …… p.15

10 面接選考企業数 …… p.16

11 グループワーク・ディスカッションでの役割 …… p.17

12 現在選考中の企業数 …… p.18

13 企業への新たな応募予定（6月） …… p.19

14 入社予定企業の従業員規模 …… p.21

15 内定企業からの意思確認 …… p.22

16 内定企業への入社意思表示 …… p.23

17 内定企業への満足度 …… p.24

18 内定企業に物足りないもの …… p.25

19 応募当初よりも志望度が上がった企業はあるか …… p.26

20 好印象な採用担当者とは …… p.28

21 第一志望“以外”の企業への対応 …… p.29

22「オワハラ」経験の有無 …… p.30

23 育児休業等の利用意向 …… p.31

# 調 査 概 要

**調査目的**

2017年6月1日時点、6月15日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

**調査対象**

2018年3月卒業予定で、一般企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

**調査方法**

インターネット調査

**調査期間**

6月1日調査：2017年6月1日～5日　　6月15日調査：2017年6月15日～19日

**有効回答**

6月1日調査　：685名
「JOBRASS 新卒」登録学生（362名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（323名）

6月15日調査　：681名
「JOBRASS 新卒」登録学生（351名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（330名）

※本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。
※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。
※本調査で言う「内定」には、「内々定」も含んでいます。

**6月1日調査**

| 居住地域 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 北海道・東北地方 | 38 | 5.5 |
| 関東地方 | 277 | 40.4 |
| 北陸・甲信越地方 | 19 | 2.8 |
| 東海地方 | 41 | 6.0 |
| 近畿地方 | 250 | 36.5 |
| 中国地方 | 24 | 3.5 |
| 四国地方 | 2 | 0.3 |
| 九州地方 | 34 | 5.0 |
| 合 計 | 685 | 100.0 |

| 専　攻 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 文系 | 499 | 72.8 |
| 理系 | 186 | 27.2 |
| 合 計 | 685 | 100.0 |

| 所属サークル | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 文化系 | 229 | 33.4 |
| 体育会系 | 169 | 24.7 |
| イベント系 | 55 | 8.0 |
| 無所属 | 232 | 33.9 |
| 合 計 | 685 | 100.0 |

| 性 別 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 男性 | 270 | 39.4 |
| 女性 | 415 | 60.6 |
| 合 計 | 685 | 100.0 |

**6月15日調査**

| 居住地域 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 北海道・東北地方 | 37 | 5.4 |
| 関東地方 | 261 | 38.3 |
| 北陸・甲信越地方 | 20 | 2.9 |
| 東海地方 | 28 | 4.1 |
| 近畿地方 | 279 | 41.0 |
| 中国地方 | 19 | 2.8 |
| 四国地方 | 7 | 1.0 |
| 九州地方 | 30 | 4.4 |
| 合 計 | 681 | 100.0 |

| 専　攻 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 文系 | 491 | 72.1 |
| 理系 | 190 | 27.9 |
| 合 計 | 681 | 100.0 |

| 所属サークル | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 文化系 | 211 | 31.0 |
| 体育会系 | 172 | 25.3 |
| イベント系 | 65 | 9.5 |
| 無所属 | 233 | 34.2 |
| 合 計 | 681 | 100.0 |

| 性 別 | 回答数 | (%) |
|---|---|---|
| 男性 | 259 | 38.0 |
| 女性 | 422 | 62.0 |
| 合 計 | 681 | 100.0 |

1

# 就職活動の進捗状況

学生に、2017年6月1日時点の就職活動の＜主な活動＞について聞くと、「面接・試験段階」と回答した学生が最も多く34.9%に上った。次点は「内定獲得／就活継続段階」で30.2%だった。前年調査（「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2016年6月１日状況・6月15日状況（臨時調査）」、以下同）や広報活動解禁が3月になった前々年調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2015年6月１日状況」、以下同）と比較すると、「内定獲得段階」以降の学生の割合が増加している（図1.1）。

6月15日時点になると、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生が42.4%とに大幅に増加し、6月1日からの半月で就職活動が一気に最終局面に進んだことがうかがえる。前年同時期の調査と比較しても、その動きは早い（図1.2）。

◆準備活動段階　：就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階

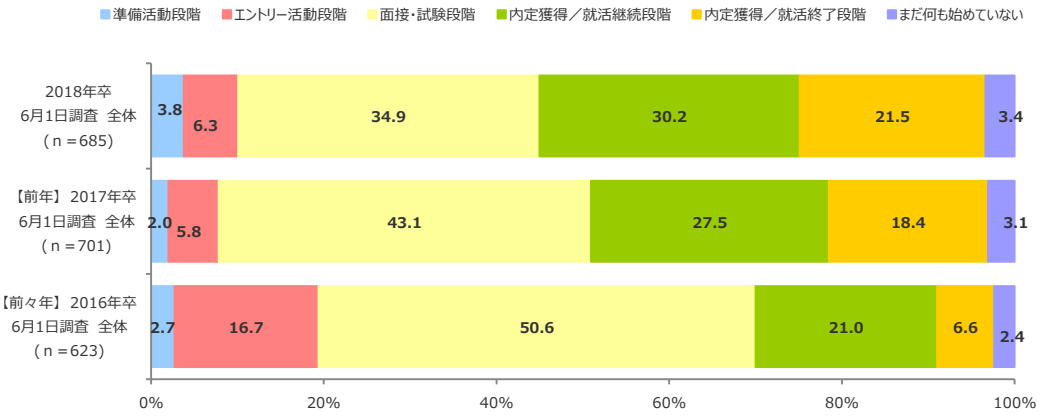
◆エントリー活動段階　：説明会やエントリーシートの作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階

◆面接・試験段階　：面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階

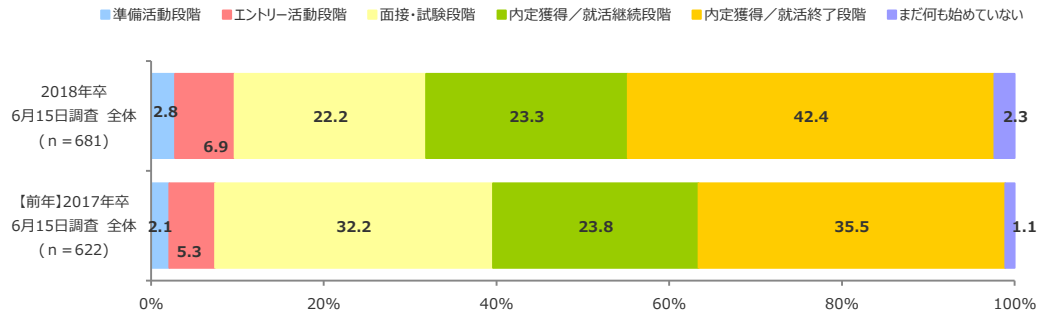
◆内定獲得／就活継続段階：1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階

◆内定獲得／就活終了段階：1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.1】6月1日調査　　現在の就職活動のステータス＜主な活動＞：前年調査、前々年調査との比較




【図1.2】6月15日調査　　現在の就職活動のステータス＜主な活動＞：前年調査との比較



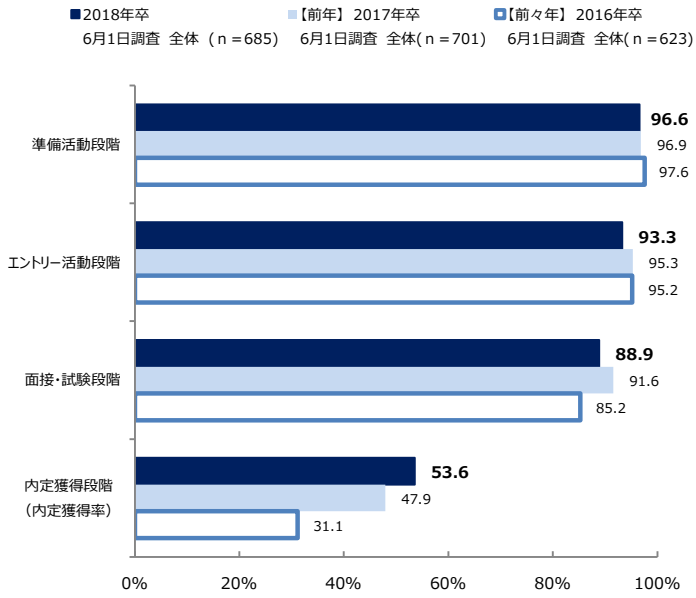
また、＜主な活動＞と＜最も選考が進んでいる企業の状況（※）＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見ると、6月1日調査、6月15日調査ともに約9割の学生が、「面接・試験段階」まで到達していた。「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。“内定獲得率”と同義）」は、6月1日時点で53.6%（前年比5.7ポイント増加）、6月15日時点で67.5%（前年比7.4ポイント増加）となり、半月で13.9ポイントの増加となった（図1.3、図1.4）。

属性別で見ると、文理別では、理系の学生の「内定獲得段階」への到達率が高くなっていた（表1.1、表1.2）。

※最も選考が進んでいる企業の状況
：＜主な活動＞において「内定獲得／就活終了段階」または「まだ何も始めていない」以外を回答した学生に聴取

| (%) | 準備活動段階 | エントリー活動段階 | 面接・試験段階 | 内定獲得／就活継続段階 |
|---|---|---|---|---|
| 6月1日調査　（n＝308） | 7.5 | 9.7 | 78.6 | 4.2 |
| 6月15日調査（n＝217） | 6.9 | 16.1 | 71.4 | 5.5 |

【図1.3】6月1日調査　各活動ステータスに到達した学生の割合
：前年調査、前々年調査との比較

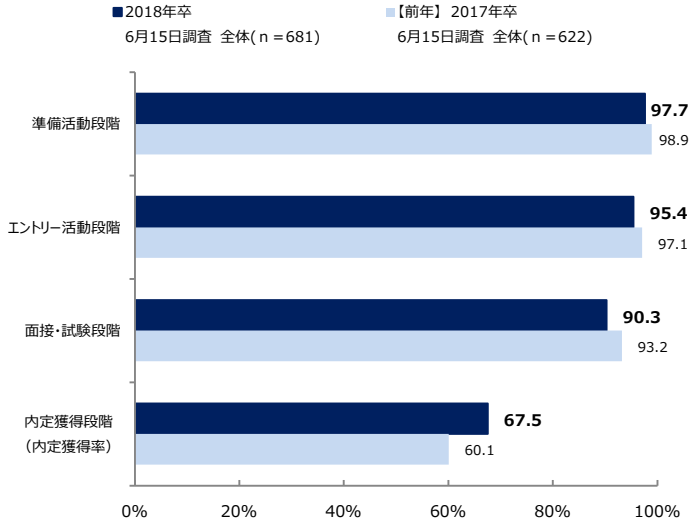



【表1.1】6月1日調査　各活動ステータスに到達した学生の割合
：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 準備活動段階 (%) | エントリー活動段階 (%) | 面接・試験段階 (%) | 内定獲得段階（内定獲得率） (%) |
|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝685）** | | **96.6** | **93.3** | **88.9** | **53.6** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝701） | | 96.9 | 95.3 | 91.6 | 47.9 |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝623） | | 97.6 | 95.2 | 85.2 | 31.1 |
| 男女別 | 男性（n＝270） | 95.9 | 93.0 | 88.5 | 55.9 |
| | 女性（n＝415） | 97.1 | 93.5 | 89.2 | 52.0 |
| 文理別 | 文系（n＝499） | 96.2 | 93.0 | 88.8 | 49.5 |
| | 理系（n＝186） | 97.8 | 94.1 | 89.2 | 64.5 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝333） | 97.9 | 95.8 | 91.9 | 58.9 |
| | 中小企業志向（n＝200） | 97.5 | 92.5 | 89.0 | 52.0 |
| | 企業の規模は全く意識していない(n＝152) | 92.8 | 88.8 | 82.2 | 44.1 |

【図1.4】6月15日調査　各活動ステータスに到達した学生の割合
：前年調査との比較



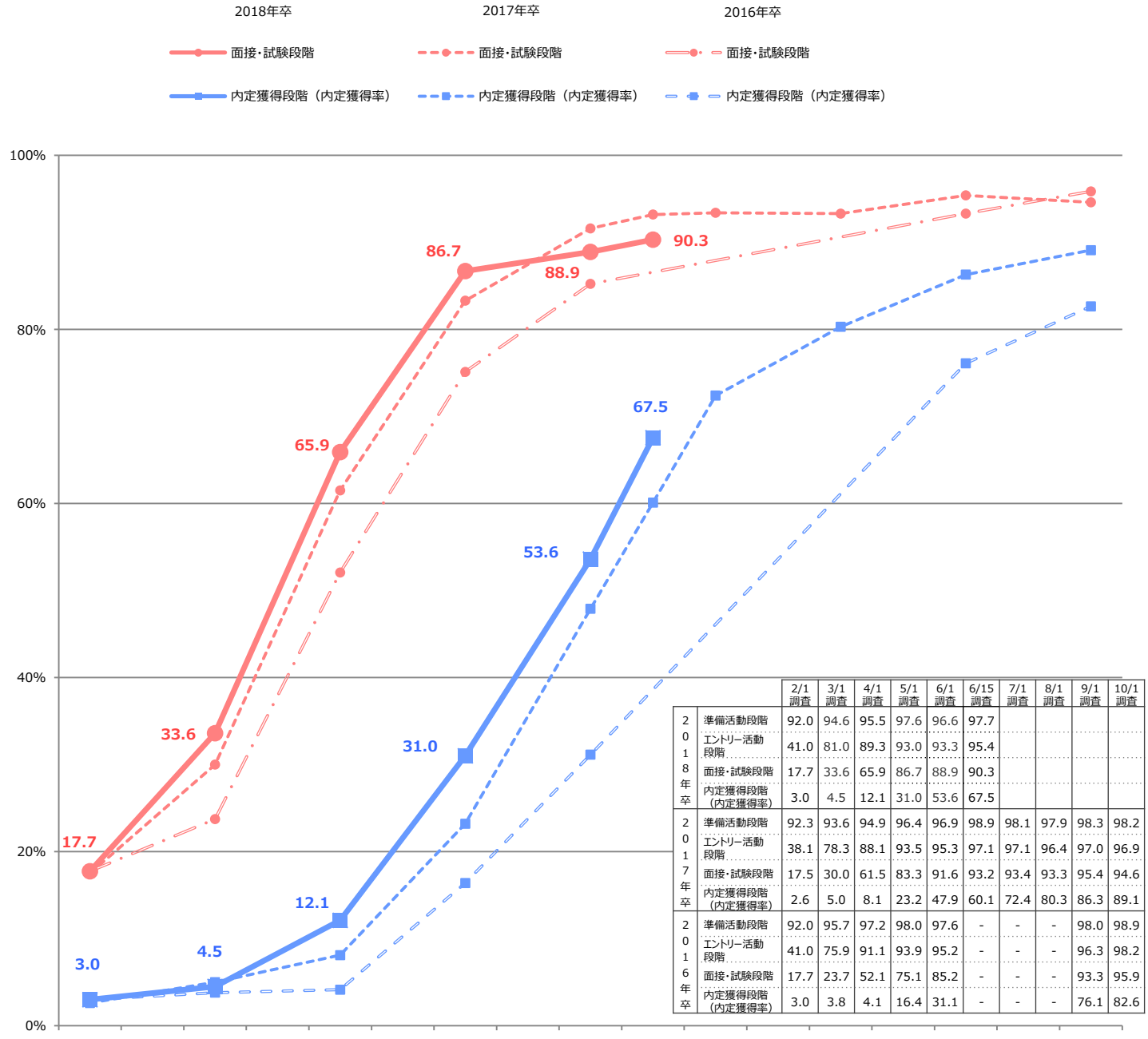

【表1.2】6月15日調査　各活動ステータスに到達した学生の割合
：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 準備活動段階 (%) | エントリー活動段階 (%) | 面接・試験段階 (%) | 内定獲得段階（内定獲得率） (%) |
|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月15日調査 全体(n＝681)** | | **97.7** | **95.4** | **90.3** | **67.5** |
| 【前年】 2017年卒 6月15日調査 全体(n＝622) | | 98.9 | 97.1 | 93.2 | 60.1 |
| 男女別 | 男性（n＝259） | 95.8 | 93.1 | 88.8 | 66.0 |
| | 女性（n＝422） | 98.8 | 96.9 | 91.2 | 68.5 |
| 文理別 | 文系（n＝491） | 97.6 | 95.5 | 90.4 | 66.2 |
| | 理系（n＝190） | 97.9 | 95.3 | 90.0 | 71.1 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝330） | 99.1 | 97.3 | 95.2 | 73.9 |
| | 中小企業志向（n＝191） | 98.4 | 96.9 | 89.0 | 63.9 |
| | 企業の規模は全く意識していない(n＝160) | 93.8 | 90.0 | 81.9 | 58.8 |

各活動ステータスに到達した学生の割合を、時系列で過去の調査と比較した。「面接・試験段階」到達者の割合は、調査開始以来大幅な増加傾向にあったが、6月1日以降落ち着き始めた。一方、「内定獲得段階」到達者の割合は勢いを増し、6月15日時点では67.5%と前年を上回った。6月1日からわずか半月で約14ポイント増加した形だが、その増加幅も前年より大きく、より早い動きとなっている（図1.5）。

【図1.5】 各活動ステータスに到達した学生の割合：時系列、前年調査、前々年調査との比較




| | | 2/1調査 | 3/1調査 | 4/1調査 | 5/1調査 | 6/1調査 | 6/15調査 | 7/1調査 | 8/1調査 | 9/1調査 | 10/1調査 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年卒 | 準備活動段階 | 92.0 | 94.6 | 95.5 | 97.6 | 96.6 | 97.7 | | | | |
| | エントリー活動段階 | 41.0 | 81.0 | 89.3 | 93.0 | 93.3 | 95.4 | | | | |
| | 面接・試験段階 | 17.7 | 33.6 | 65.9 | 86.7 | 88.9 | 90.3 | | | | |
| | 内定獲得段階（内定獲得率） | 3.0 | 4.5 | 12.1 | 31.0 | 53.6 | 67.5 | | | | |
| 2017年卒 | 準備活動段階 | 92.3 | 93.6 | 94.9 | 96.4 | 96.9 | 98.9 | 98.1 | 97.9 | 98.3 | 98.2 |
| | エントリー活動段階 | 38.1 | 78.3 | 88.1 | 93.5 | 95.3 | 97.1 | 97.1 | 96.4 | 97.0 | 96.9 |
| | 面接・試験段階 | 17.5 | 30.0 | 61.5 | 83.3 | 91.6 | 93.2 | 93.4 | 93.3 | 95.4 | 94.6 |
| | 内定獲得段階（内定獲得率） | 2.6 | 5.0 | 8.1 | 23.2 | 47.9 | 60.1 | 72.4 | 80.3 | 86.3 | 89.1 |
| 2016年卒 | 準備活動段階 | 92.0 | 95.7 | 97.2 | 98.0 | 97.6 | - | - | - | 98.0 | 98.9 |
| | エントリー活動段階 | 41.0 | 75.9 | 91.1 | 93.9 | 95.2 | - | - | - | 96.3 | 98.2 |
| | 面接・試験段階 | 17.7 | 23.7 | 52.1 | 75.1 | 85.2 | - | - | - | 93.3 | 95.9 |
| | 内定獲得段階（内定獲得率） | 3.0 | 3.8 | 4.1 | 16.4 | 31.1 | - | - | - | 76.1 | 82.6 |

| | 2/1調査 | 3/1調査 | 4/1調査 | 5/1調査 | 6/1調査 | 6/15調査 | 7/1調査 | 8/1調査 | 9/1調査 | 10/1調査 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年卒： | （n＝660） | （n＝685） | （n＝628） | （n＝668） | （n＝685） | （n＝681） | | | | |
| 2017年卒： | （n＝646） | （n＝659） | （n＝631） | （n＝672） | （n＝701） | （n＝622） | （n＝693） | （n＝714） | （n＝710） | （n＝671） |
| 2016年卒： | （n＝637） | （n＝632） | （n＝605） | （n＝659） | （n＝623） | | - | - | （n＝657） | （n＝651） |

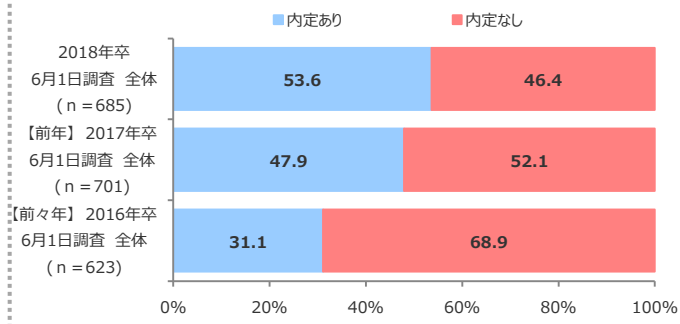
2

# 内定獲得状況

「図1.3」「図1.4」から、学生の内定獲得状況を見た。
6月1日時点では、「内定あり」53.6%、「内定なし」46.4%となった。過去の調査と比較すると、「内定あり」の割合は年々増加しており、前々年調査の約1.7倍となっている（図2.1）。
6月15日時点では、「内定あり」67.5%、「内定なし」32.5%となり、前年同時期の調査から7.4ポイントの増加となった（図2.2）。
内定獲得社数を見ると、6月1日時点で平均1.9社、6月15日時点で平均2.3社となり、ともに前年同時期の調査から0.1社増加した。また、年々、「1社」の回答割合が減り、その分「3社以上」の回答割合が高くなっている（表2.1、表2.2）。

内定獲得者のうち、内定獲得社数が「2社」以上だった学生の割合を複数内定獲得率（以下同）として集計すると、6月15日時点で60.6%に上った。2月1日以降、概ね前年よりも高い数値となっており、内定を獲得しやすくなっている状況がうかがえる（図2.3）。

【図2.1】6月1日調査　内定獲得状況：前年調査、前々年調査との比較

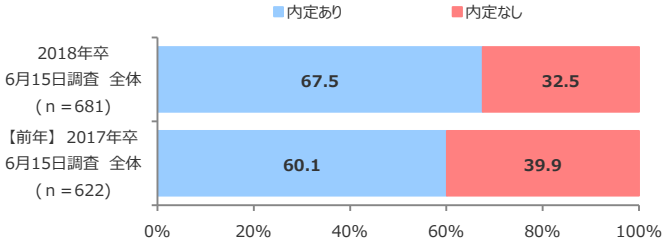



【表2.1】6月1日調査　内定獲得社数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 1社 (%) | 2社 (%) | 3社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝367）** | | **50.7** | **28.1** | **21.3** | **1.9** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝336） | | 55.4 | 28.0 | 16.7 | 1.8 |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝194） | | 60.3 | 28.4 | 11.3 | 1.7 |
| 男女別 | 男性（n＝151） | 51.7 | 27.8 | 20.5 | 1.9 |
| | 女性（n＝216） | 50.0 | 28.2 | 21.8 | 1.9 |
| 文理別 | 文系（n＝247） | 51.4 | 29.1 | 19.4 | 1.8 |
| | 理系（n＝120） | 49.2 | 25.8 | 25.0 | 2.0 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝196） | 49.5 | 28.6 | 21.9 | 1.9 |
| | 中小企業志向（n＝104） | 46.2 | 28.8 | 25.0 | 1.9 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝67） | 61.2 | 25.4 | 13.4 | 1.6 |

【図2.2】6月15日調査　内定獲得状況：前年調査との比較

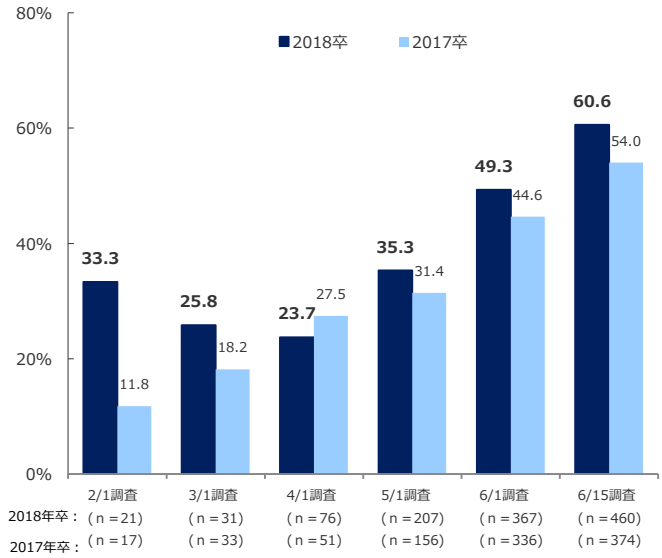



【表2.2】6月15日調査　内定獲得社数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 1社 (%) | 2社 (%) | 3社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月15日調査 全体（n＝460）** | | **39.3** | **27.6** | **33.0** | **2.3** |
| 【前年】2017年卒 6月15日調査 全体（n＝374） | | 46.0 | 26.5 | 27.5 | 2.2 |
| 男女別 | 男性（n＝171） | 43.3 | 22.2 | 34.5 | 2.3 |
| | 女性（n＝289） | 37.0 | 30.8 | 32.2 | 2.3 |
| 文理別 | 文系（n＝325） | 35.4 | 30.2 | 34.5 | 2.3 |
| | 理系（n＝135） | 48.9 | 21.5 | 29.6 | 2.3 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝244） | 39.8 | 27.5 | 32.8 | 2.4 |
| | 中小企業志向（n＝122） | 38.5 | 26.2 | 35.2 | 2.2 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝94） | 39.4 | 29.8 | 30.9 | 2.2 |

【図2.3】内定獲得者における複数内定獲得率：時系列、前年調査との比較





©AIDEM Inc.

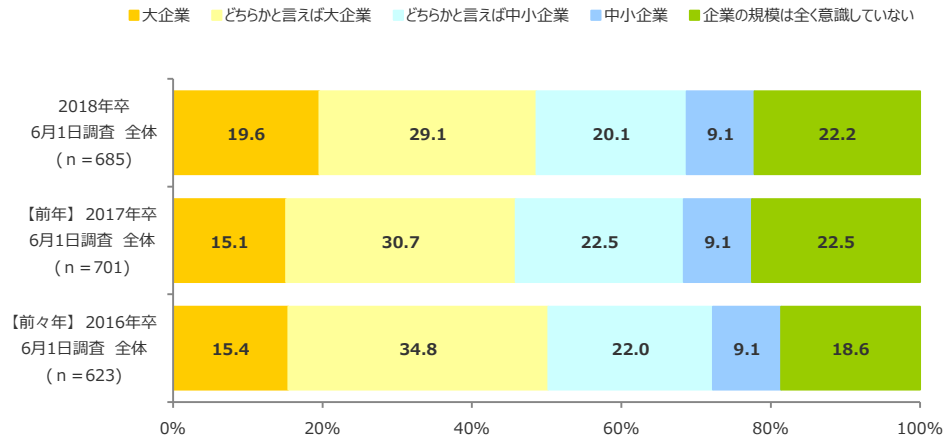
3

# 企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞くと、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答（以下、大企業志向）が48.7%に上った。「中小企業」と「どちらかと言えば中小企業」を合わせた回答（以下、中小企業志向）は29.2%、「企業の規模は全く意識していない」学生は22.2%だった（図3）。

属性別では、男女別で見ると、男性は「大企業志向」の割合が54.1%と、女性（45.1%）よりも9.0ポイント高い。反面、女性は男性よりも「中小企業志向」の割合が高く、10.9ポイントの差となっている。就活取組姿勢別（表4.2　参照）で見ると、「積極的」と回答した学生は「大企業志向」の者が多く、57.0%を占めている（表3）。

【図3】企業規模に対する志向：前年調査、前々年調査との比較




【表3】企業規模に対する志向：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 大企業 (%) | どちらかと言えば大企業 (%) | どちらかと言えば中小企業 (%) | 中小企業 (%) | 企業の規模は全く意識していない (%) | 大企業志向 (%) | 中小企業志向 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝685）** | | **19.6** | **29.1** | **20.1** | **9.1** | **22.2** | **48.7** | **29.2** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝701） | | 15.1 | 30.7 | 22.5 | 9.1 | 22.5 | 45.8 | 31.6 |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝623） | | 15.4 | 34.8 | 22.0 | 9.1 | 18.6 | 50.2 | 31.1 |
| 男女別 | 男性（n＝270） | 26.3 | 27.8 | 15.9 | 6.7 | 23.3 | 54.1 | 22.6 |
| | 女性（n＝415） | 15.2 | 29.9 | 22.9 | 10.6 | 21.4 | 45.1 | 33.5 |
| 文理別 | 文系（n＝499） | 16.2 | 29.5 | 22.0 | 9.2 | 23.0 | 45.7 | 31.3 |
| | 理系（n＝186） | 28.5 | 28.0 | 15.1 | 8.6 | 19.9 | 56.5 | 23.7 |
| 内定状況別 | 内定あり（n＝367） | 22.9 | 30.5 | 19.1 | 9.3 | 18.3 | 53.4 | 28.3 |
| | 内定なし（n＝318） | 15.7 | 27.4 | 21.4 | 8.8 | 26.7 | 43.1 | 30.2 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝444） | 23.9 | 33.1 | 16.7 | 8.3 | 18.0 | 57.0 | 25.0 |
| | 消極的（n＝241） | 11.6 | 21.6 | 26.6 | 10.4 | 29.9 | 33.2 | 36.9 |

4

# 自分のタイプ

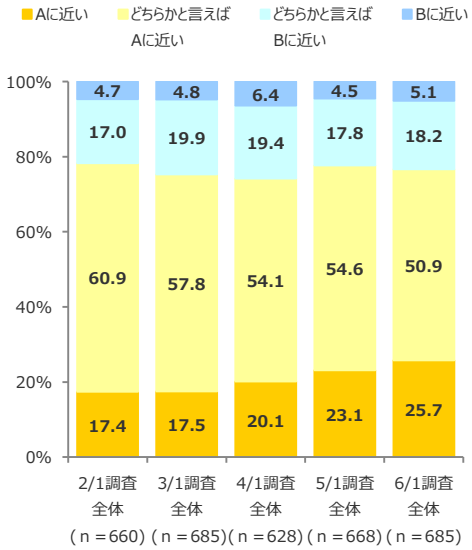
学生に、「周りからの評価の高さ」と「就職活動の取組姿勢」に関し、自分のタイプに近いものを聞いた。
「周りからの評価の高さ」に関し、A「周りからの評価は高い方だ」とB「周りからの評価は低い方だ」のどちらに近いかを聞いた。結果は、周りからの評価が高い（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）と感じている学生が76.6%、周りからの評価が低い（「Bに近い」と「どちらかと言えばBに近い」の合計、以下同）と感じている学生は23.3%だった。企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生が、内定獲得状況別では「内定あり」の学生が、周りからの評価が高いと自信を持っている割合が高いようだ（図4.1、表4.1）。

「就職活動の取組姿勢」に関し、A「積極的に就職活動をしている」とB「あまり積極的に就職活動をしていない」のどちらに近いかを聞くと、就職活動の取組姿勢が積極的（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）な学生が64.8%となった。企業規模に対する志向が「大企業志向」の学生では、「積極的」な学生が76.0%に上った。内定獲得状況別では、「内定あり」の学生で「積極的」な学生が75.2%と特に高くなっている（図4.2、表4.2）。

「周りからの評価の高さ」も「就職活動の取組姿勢」も、2月1日調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2017年2月１日状況」、以下同）から「Aに近い」の回答割合が増加している。就職活動を進める中で、より自信や活動性が出てきたようだ（図4.1、図4.2）。

**A.周りからの評価は高い方だ　⇔　B.周りからの評価は低い方だ**

【図4.1】自分のタイプ＜周りからの評価の高さ＞：時系列



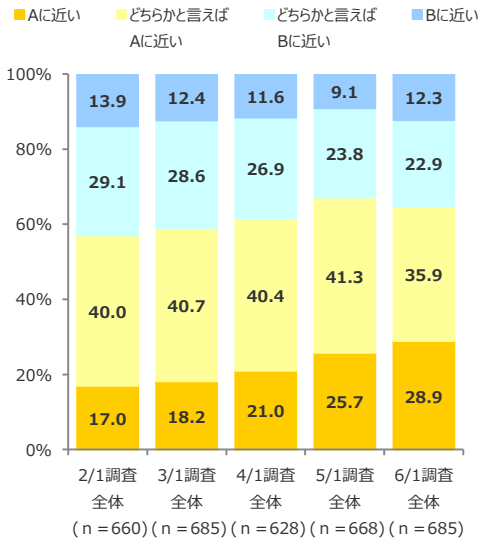

【表4.1】自分のタイプ＜周りからの評価の高さ＞：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | Aに近い (%) | どちらかと言えばAに近い (%) | どちらかと言えばBに近い (%) | Bに近い (%) | 周りからの評価が高いの (%) | 周りからの評価が低いの (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **全体(n＝685)** | | **25.7** | **50.9** | **18.2** | **5.1** | **76.6** | **23.3** |
| 男女別 | 男性 (n＝270) | 27.0 | 48.5 | 19.3 | 5.2 | 75.6 | 24.4 |
| | 女性 (n＝415) | 24.8 | 52.5 | 17.6 | 5.1 | 77.3 | 22.7 |
| 文理別 | 文系 (n＝499) | 23.8 | 52.3 | 18.8 | 5.0 | 76.2 | 23.8 |
| | 理系 (n＝186) | 30.6 | 47.3 | 16.7 | 5.4 | 78.0 | 22.0 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向 (n＝333) | 33.0 | 50.8 | 13.5 | 2.7 | 83.8 | 16.2 |
| | 中小企業志向 (n＝200) | 21.0 | 54.5 | 18.0 | 6.5 | 75.5 | 24.5 |
| | 企業の規模は全く意識していない(n＝152) | 15.8 | 46.7 | 28.9 | 8.6 | 62.5 | 37.5 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり (n＝367) | 30.5 | 54.2 | 13.1 | 2.2 | 84.7 | 15.3 |
| | 内定なし (n＝318) | 20.1 | 47.2 | 24.2 | 8.5 | 67.3 | 32.7 |

**A.積極的に就職活動をしている　⇔　B.あまり積極的に就職活動をしていない**

【図4.2】自分のタイプ＜就職活動取組姿勢＞：時系列




【表4.2】自分のタイプ＜就職活動取組姿勢＞：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | Aに近い (%) | どちらかと言えばAに近い (%) | どちらかと言えばBに近い (%) | Bに近い (%) | 積極的 (%) | 消極的 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **全体(n＝685)** | | **28.9** | **35.9** | **22.9** | **12.3** | **64.8** | **35.2** |
| 男女別 | 男性 (n＝270) | 31.9 | 35.2 | 21.1 | 11.9 | 67.0 | 33.0 |
| | 女性 (n＝415) | 27.0 | 36.4 | 24.1 | 12.5 | 63.4 | 36.6 |
| 文理別 | 文系 (n＝499) | 28.3 | 36.7 | 22.8 | 12.2 | 64.9 | 35.1 |
| | 理系 (n＝186) | 30.6 | 33.9 | 23.1 | 12.4 | 64.5 | 35.5 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向 (n＝333) | 36.0 | 39.9 | 19.5 | 4.5 | 76.0 | 24.0 |
| | 中小企業志向 (n＝200) | 22.5 | 33.0 | 29.0 | 15.5 | 55.5 | 44.5 |
| | 企業の規模は全く意識していない(n＝152) | 21.7 | 30.9 | 22.4 | 25.0 | 52.6 | 47.4 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり (n＝367) | 38.1 | 37.1 | 18.0 | 6.8 | 75.2 | 24.8 |
| | 内定なし (n＝318) | 18.2 | 34.6 | 28.6 | 18.6 | 52.8 | 47.2 |

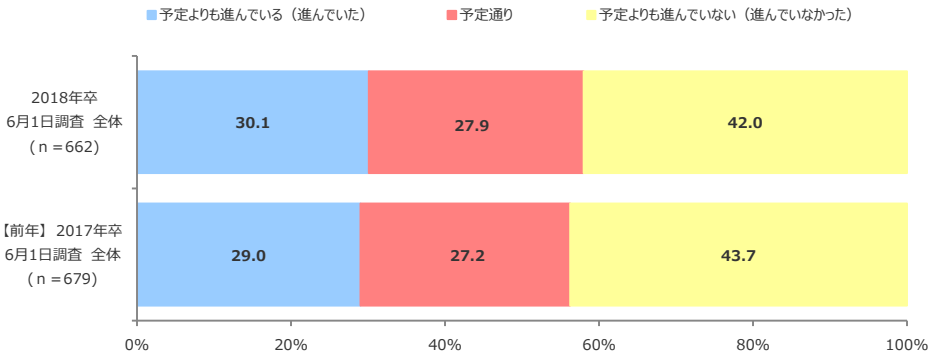
5

# 就職活動の進捗感

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、6月1日までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか（就職活動を終了している学生は、終了時期が予定と比べてどうだったか）を聞いた。結果は、「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答した学生が最も多く42.0%、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」30.1%、「予定通り」27.9%となった。「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と「予定通り」を合わせた58.0%の学生が、自身の就職活動の進捗を順調だと感じている（図5）。

属性別に見ると、文理別では文系よりも理系の学生の方が、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生で「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と回答した割合が高い。また、内定獲得状況別では、「内定あり」の学生の46.6%が「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と回答しており、自身が想定するよりもスムーズに就職活動が進行したことがうかがえる（表5）。

【図5】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか：前年調査との比較




【表5】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 予定よりも進んでいる（進んでいた）(%) | 予定通り (%) | 予定よりも進んでいない（進んでいなかった）(%) |
|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝662）** | | **30.1** | **27.9** | **42.0** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝679） | | 29.0 | 27.2 | 43.7 |
| 男女別 | 男性（n＝259） | 29.7 | 27.8 | 42.5 |
| | 女性（n＝403） | 30.3 | 28.0 | 41.7 |
| 文理別 | 文系（n＝480） | 27.9 | 27.7 | 44.4 |
| | 理系（n＝182） | 35.7 | 28.6 | 35.7 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝326） | 34.7 | 29.8 | 35.6 |
| | 中小企業志向（n＝195） | 27.2 | 24.1 | 48.7 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝141） | 23.4 | 29.1 | 47.5 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 46.6 | 32.2 | 21.3 |
| | 内定なし（n＝295） | 9.5 | 22.7 | 67.8 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝437） | 34.1 | 30.4 | 35.5 |
| | 消極的（n＝225） | 22.2 | 23.1 | 54.7 |

6

# 1日の活動時間

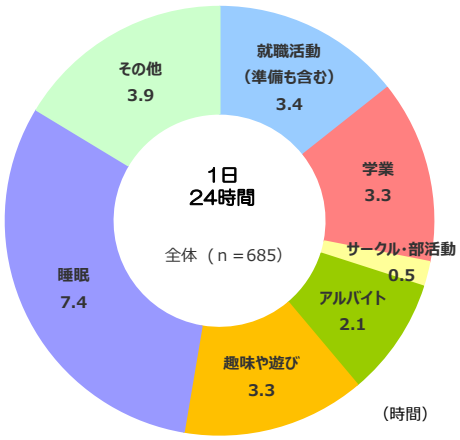
学生に、現在、1日のうち「就職活動（準備も含む）」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動（準備も含む）」3.4時間、「学業」3.3時間、「サークル・部活動」0.5時間、「アルバイト」2.1時間、「趣味や遊び」3.3時間、「睡眠」7.4時間となった（図6.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が5.6時間となり、文系の約2.3倍となっている。そのためか、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は文系よりも少ない。

内定獲得状況別で見ると、「内定あり」の学生は、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間が2.8時間で「内定なし」の学生よりも1.4時間少なくなっており、就職活動は落ち着いてきているようだ（表6）。

前回調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2017年5月１日状況」、以下同）から、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は1.0時間減少した。4月1日調査で5.0時間を記録してから減少の一途となっており、就職活動が収束してきたことがうかがえる（図6.2）。

【図6.1】1日の活動時間／平均



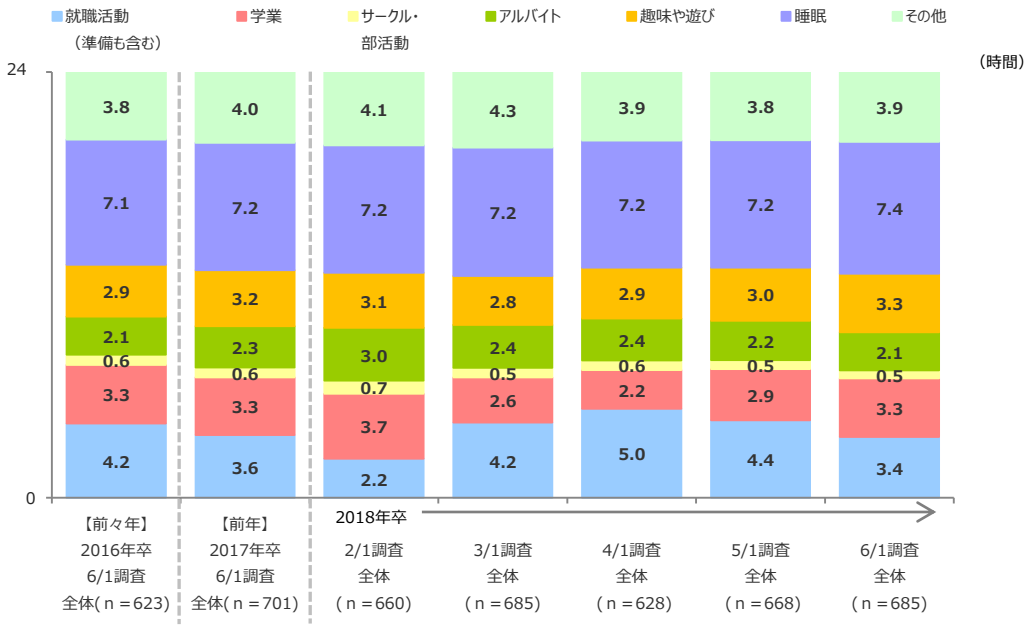

【表6】1日の活動時間／平均：属性別

（時間）

n=30以上で
全体＋1時間以上
全体＋0.5時間以上
全体－0.5時間以下
全体－1時間以下

| | | 就職活動（準備も含む） | 学業 | サークル・部活動 | アルバイト | 趣味や遊び | 睡眠 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体(n＝685) | | 3.4 | 3.3 | 0.5 | 2.1 | 3.3 | 7.4 | 3.9 |
| 男女別 | 男性（n＝270） | 3.5 | 3.5 | 0.5 | 1.8 | 3.2 | 7.5 | 3.9 |
| | 女性（n＝415） | 3.4 | 3.2 | 0.4 | 2.4 | 3.4 | 7.4 | 3.9 |
| 文理別 | 文系（n＝499） | 4.0 | 2.4 | 0.5 | 2.4 | 3.3 | 7.3 | 4.1 |
| | 理系（n＝186） | 2.1 | 5.6 | 0.5 | 1.4 | 3.2 | 7.7 | 3.6 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝333） | 3.9 | 3.2 | 0.5 | 2.1 | 3.2 | 7.4 | 3.6 |
| | 中小企業志向（n＝200） | 2.7 | 3.2 | 0.4 | 2.5 | 3.6 | 7.4 | 4.0 |
| | 企業の規模は全く意識していない(n＝152) | 3.3 | 3.6 | 0.4 | 1.7 | 3.1 | 7.5 | 4.5 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 2.8 | 3.4 | 0.5 | 2.4 | 3.5 | 7.5 | 3.9 |
| | 内定なし（n＝318） | 4.2 | 3.2 | 0.4 | 1.8 | 3.1 | 7.4 | 4.0 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝444） | 4.0 | 3.1 | 0.5 | 2.1 | 3.1 | 7.5 | 3.8 |
| | 消極的（n＝241） | 2.5 | 3.8 | 0.4 | 2.2 | 3.6 | 7.4 | 4.2 |

【図6.2】1日の活動時間／平均：時系列、前年調査、前々年調査との比較





©AIDEM Inc.

7

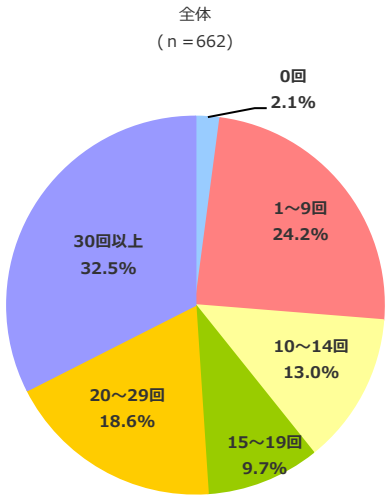
# 会社説明会参加回数

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、6月1日までに参加した会社説明会の回数を聞いた。結果は、多い順に「30回以上」32.5%、「1～9回」24.2%、「20～29回」18.6%となっている（図7.1）。

平均参加回数は21.4回となっており、前年調査よりも0.5回少ない。
属性別に見ると、男女別ではほとんど差はないが、文理別では理系よりも文系で、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生で、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で参加回数が多く、平均20回を超えている。また、就活取組姿勢別では、「積極的」な学生は平均25.2回に上り、「消極的」な学生と10回以上の差が生じていた（表7）。

時系列で見ると、前回調査の平均17.8回から3.6回の増加となっている（図7.2）。

【図7.1】会社説明会参加回数

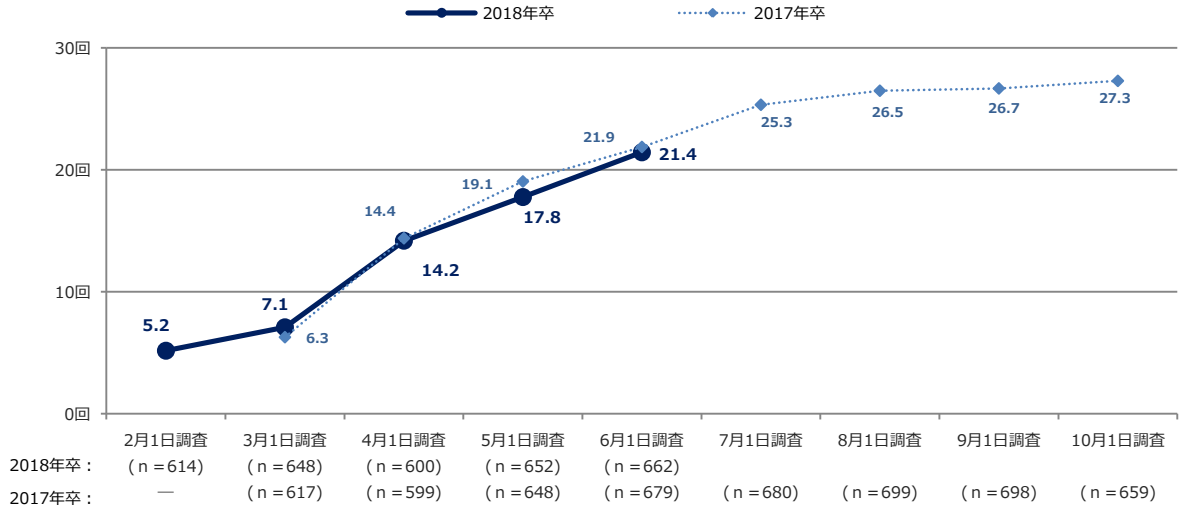



【表7】会社説明会参加回数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 0回 (%) | 1～9回 (%) | 10～14回 (%) | 15～19回 (%) | 20～29回 (%) | 30回以上 (%) | 平均 (回) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝662）** | | **2.1** | **24.2** | **13.0** | **9.7** | **18.6** | **32.5** | ***21.4*** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝679） | | 1.9 | 21.5 | 13.7 | 10.5 | 19.3 | 33.1 | *21.9* |
| 男女別 | 男性（n＝259） | 2.7 | 26.6 | 13.9 | 9.3 | 17.0 | 30.5 | *20.7* |
| | 女性（n＝403） | 1.7 | 22.6 | 12.4 | 9.9 | 19.6 | 33.7 | *21.9* |
| 文理別 | 文系（n＝480） | 1.3 | 19.4 | 12.7 | 9.4 | 19.0 | 38.3 | *23.6* |
| | 理系（n＝182） | 4.4 | 36.8 | 13.7 | 10.4 | 17.6 | 17.0 | *15.8* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝326） | 1.5 | 20.9 | 13.2 | 8.3 | 17.2 | 39.0 | *23.5* |
| | 中小企業志向（n＝195） | 2.6 | 22.1 | 14.4 | 13.8 | 21.5 | 25.6 | *19.5* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝141） | 2.8 | 34.8 | 10.6 | 7.1 | 17.7 | 27.0 | *19.4* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 0.5 | 18.3 | 13.9 | 11.4 | 19.9 | 36.0 | *23.7* |
| | 内定なし（n＝295） | 4.1 | 31.5 | 11.9 | 7.5 | 16.9 | 28.1 | *18.7* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝437） | 0.9 | 16.0 | 12.1 | 10.1 | 18.8 | 42.1 | *25.2* |
| | 消極的（n＝225） | 4.4 | 40.0 | 14.7 | 8.9 | 18.2 | 13.8 | *14.1* |

【図7.2】会社説明会参加回数／平均：時系列、前年調査との比較



8

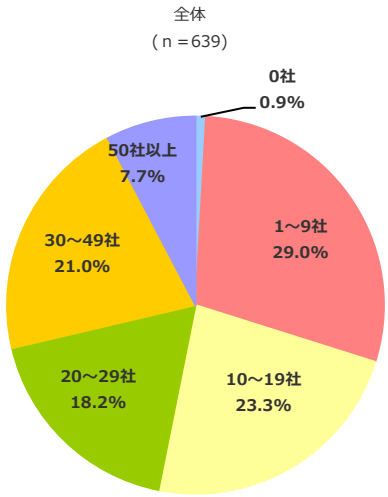
# 応募企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。多かった順に「1～9社」29.0%、「10～19社」23.3%、「30～49社」21.0%となっている（図8.1）。

応募企業数の平均は21.0社で、前年よりも1.2社減少している。
属性別では、企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生が平均23.3社なのに対し、「中小企業志向」の学生は平均17.3社となっており、応募企業数に差があった（表8）。

時系列で見ると、前回調査の平均20.3社から0.7社の増加となったが、増加幅は鈍化している（図8.2）。

【図8.1】選考に応募した企業数

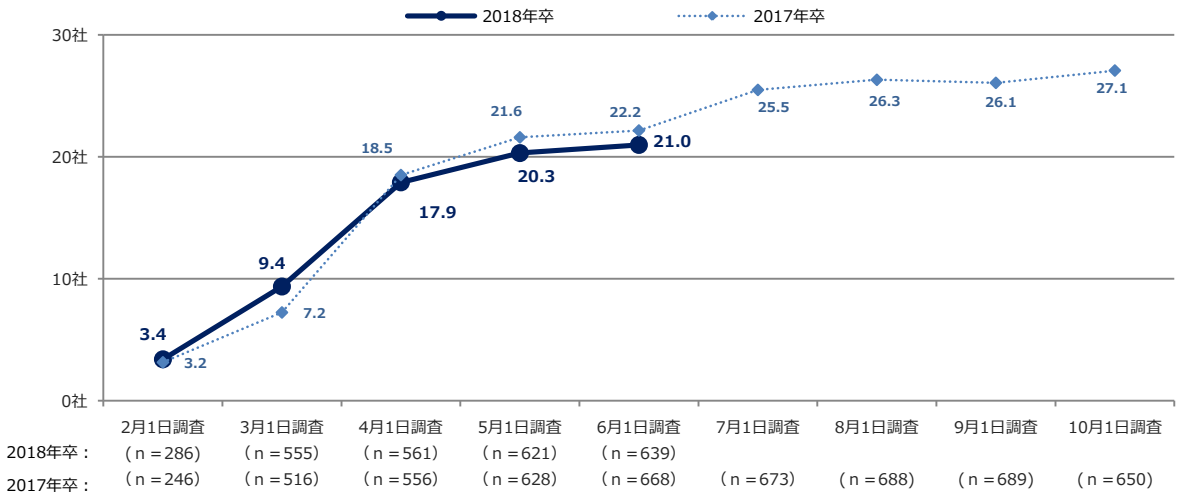



【表8】選考に応募した企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 0社 (%) | 1～9社 (%) | 10～19社 (%) | 20～29社 (%) | 30～49社 (%) | 50社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝639）** | | **0.9** | **29.0** | **23.3** | **18.2** | **21.0** | **7.7** | ***21.0*** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝668） | | 0.3 | 27.7 | 26.6 | 17.4 | 17.1 | 10.9 | *22.2* |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝593） | | 0.8 | 25.8 | 22.3 | 13.8 | 18.4 | 18.9 | *27.6* |
| 男女別 | 男性（n＝251） | 1.2 | 29.5 | 24.7 | 18.7 | 19.1 | 6.8 | *20.8* |
| | 女性（n＝388） | 0.8 | 28.6 | 22.4 | 17.8 | 22.2 | 8.2 | *21.1* |
| 文理別 | 文系（n＝464） | 0.9 | 24.6 | 22.8 | 20.7 | 23.3 | 7.8 | *22.1* |
| | 理系（n＝175） | 1.1 | 40.6 | 24.6 | 11.4 | 14.9 | 7.4 | *17.9* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝319） | 0.0 | 21.3 | 22.9 | 20.4 | 27.0 | 8.5 | *23.3* |
| | 中小企業志向（n＝185） | 1.6 | 37.8 | 24.9 | 15.1 | 14.6 | 5.9 | *17.3* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝135） | 2.2 | 34.8 | 22.2 | 17.0 | 15.6 | 8.1 | *20.6* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 0.0 | 26.4 | 25.3 | 20.2 | 19.6 | 8.4 | *21.8* |
| | 内定なし（n＝272） | 2.2 | 32.4 | 20.6 | 15.4 | 22.8 | 6.6 | *19.9* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝430） | 0.0 | 21.2 | 21.2 | 22.1 | 26.0 | 9.5 | *24.4* |
| | 消極的（n＝209） | 2.9 | 45.0 | 27.8 | 10.0 | 10.5 | 3.8 | *13.9* |

【図8.2】選考に応募した企業数／平均：時系列、前年調査との比較



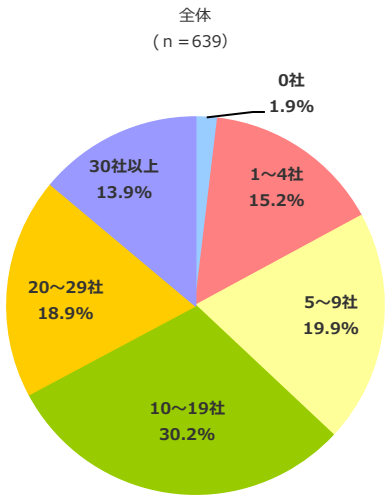
# 9 エントリーシート・履歴書提出企業数

「 1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、30.2%だった。以降は「5～9社」19.9%、「20～29社」18.9%となっている（図9.1）。

エントリーシート・履歴書提出企業数の平均は15.0社だった。
属性別に見ると、文理別では理系よりも文系、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている（表9）。

時系列で見ると、前回調査の平均12.3社から2.7社の増加となった（図9.2）。

【図9.1】エントリーシート・履歴書提出企業数

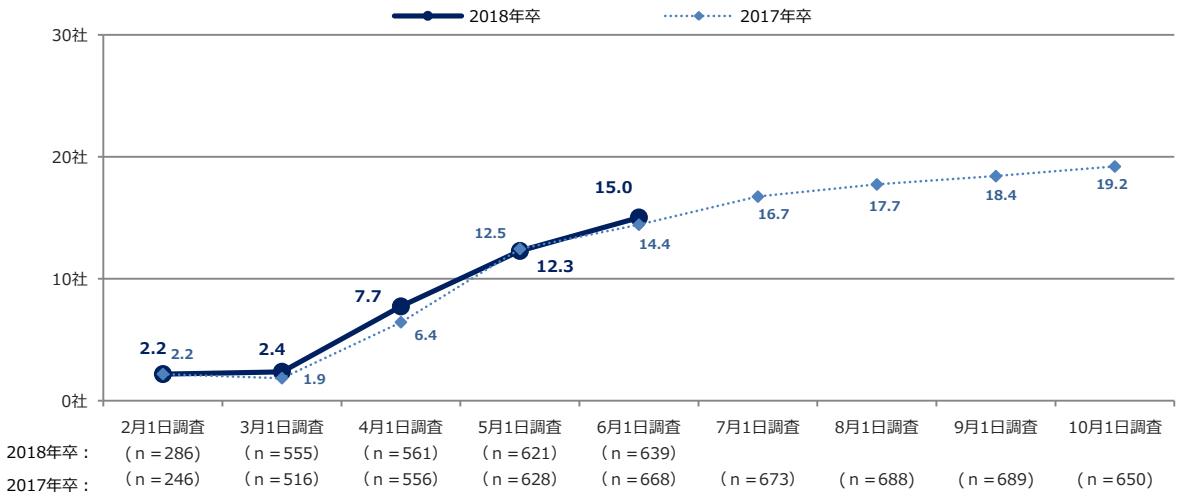



【表9】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 0社 (%) | 1～4社 (%) | 5～9社 (%) | 10～19社 (%) | 20～29社 (%) | 30社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝639）** | | **1.9** | **15.2** | **19.9** | **30.2** | **18.9** | **13.9** | ***15.0*** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝668） | | 0.4 | 15.1 | 20.5 | 32.8 | 18.7 | 12.4 | *14.4* |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝593） | | 1.3 | 20.7 | 19.9 | 31.2 | 15.5 | 11.3 | *12.9* |
| 男女別 | 男性（n＝251） | 1.6 | 14.7 | 18.7 | 33.9 | 18.7 | 12.4 | *15.1* |
| | 女性（n＝388） | 2.1 | 15.5 | 20.6 | 27.8 | 19.1 | 14.9 | *15.0* |
| 文理別 | 文系（n＝464） | 1.3 | 11.9 | 19.2 | 31.3 | 21.8 | 14.7 | *15.7* |
| | 理系（n＝175） | 3.4 | 24.0 | 21.7 | 27.4 | 11.4 | 12.0 | *13.3* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝319） | 0.3 | 11.0 | 17.2 | 30.7 | 24.1 | 16.6 | *16.7* |
| | 中小企業志向（n＝185） | 2.2 | 16.8 | 27.6 | 30.3 | 13.5 | 9.7 | *12.6* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝135） | 5.2 | 23.0 | 15.6 | 28.9 | 14.1 | 13.3 | *14.4* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 0.0 | 13.6 | 19.9 | 34.6 | 17.4 | 14.4 | *15.9* |
| | 内定なし（n＝272） | 4.4 | 17.3 | 19.9 | 24.3 | 21.0 | 13.2 | *13.8* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝430） | 0.2 | 8.8 | 18.1 | 32.1 | 22.8 | 17.9 | *17.5* |
| | 消極的（n＝209） | 5.3 | 28.2 | 23.4 | 26.3 | 11.0 | 5.7 | *9.9* |

【図9.2】エントリーシート・履歴書提出企業数／平均：時系列、前年調査との比較



10

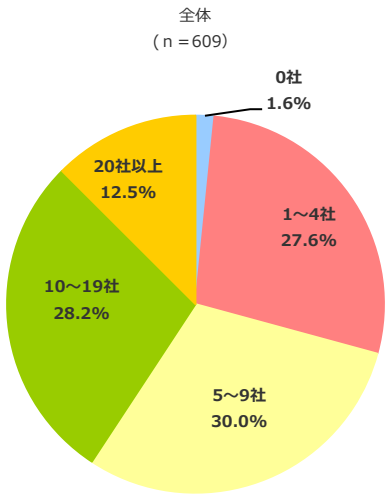
# 面接選考企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「5～9社」と回答した学生が最も多く、30.0%だった（図10.1）。

平均社数は9.4社だった。前年調査に比べ、応募企業数は減少しているにもかかわらず（表8　参照）、面接選考企業数は増加しており、前年よりも面接選考に進みやすい状況のようだ。属性別に見ると、男女別では女性よりも男性、文理別では理系より文系、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている（表10）。

時系列で見ると、前回調査の平均6.3社から3.1社の増加となった（図10.2）。

【図10.1】面接選考企業数

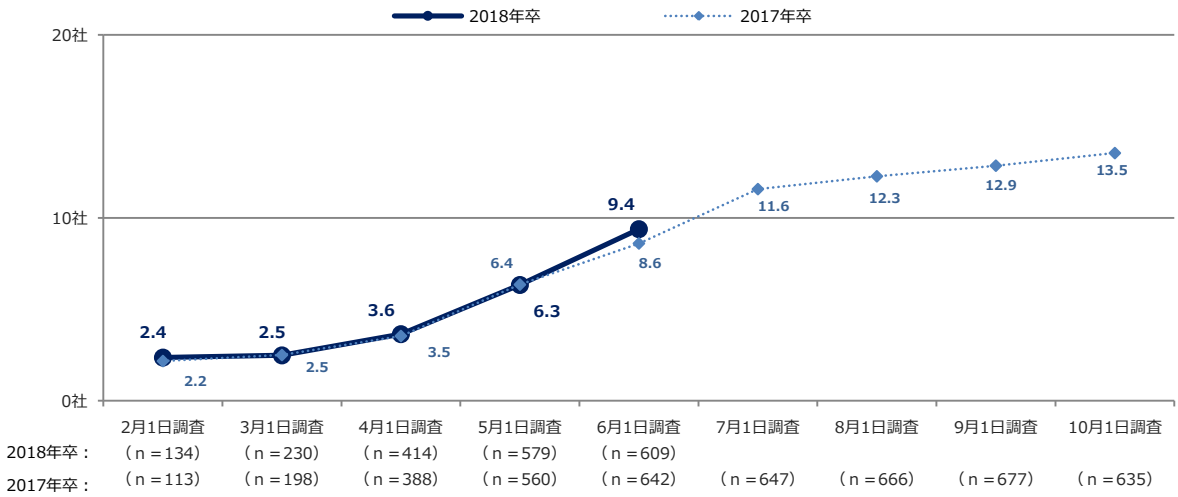



【表10】面接選考企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 0社 (%) | 1～4社 (%) | 5～9社 (%) | 10～19社 (%) | 20社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝609）** | | **1.6** | **27.6** | **30.0** | **28.2** | **12.5** | ***9.4*** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝642） | | 2.6 | 27.7 | 30.7 | 29.4 | 9.5 | *8.6* |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝531） | | 2.6 | 36.5 | 32.8 | 23.7 | 4.3 | *6.8* |
| 男女別 | 男性（n＝239） | 0.8 | 26.8 | 26.8 | 31.0 | 14.6 | *10.1* |
| | 女性（n＝370） | 2.2 | 28.1 | 32.2 | 26.5 | 11.1 | *8.9* |
| 文理別 | 文系（n＝443） | 0.7 | 24.8 | 30.9 | 30.0 | 13.5 | *9.8* |
| | 理系（n＝166） | 4.2 | 34.9 | 27.7 | 23.5 | 9.6 | *8.1* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝306） | 1.0 | 21.9 | 29.7 | 32.7 | 14.7 | *10.4* |
| | 中小企業志向（n＝178） | 2.2 | 29.2 | 33.7 | 25.3 | 9.6 | *8.2* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝125） | 2.4 | 39.2 | 25.6 | 21.6 | 11.2 | *8.6* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 0.0 | 24.3 | 30.2 | 32.2 | 13.4 | *10.2* |
| | 内定なし（n＝242） | 4.1 | 32.6 | 29.8 | 22.3 | 11.2 | *8.1* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝419） | 0.2 | 19.1 | 32.0 | 32.2 | 16.5 | *10.8* |
| | 消極的（n＝190） | 4.7 | 46.3 | 25.8 | 19.5 | 3.7 | *6.2* |

【図10.2】面接選考企業数／平均：時系列、前年調査との比較





©AIDEM Inc.

11

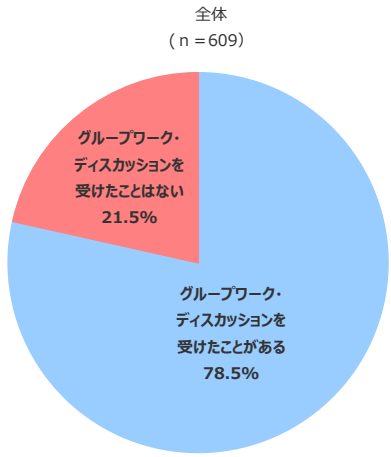
# グループワーク・ディスカッションでの役割

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、グループワーク・グループディスカッションでどのような役割を担うことが多いかを聞いた。

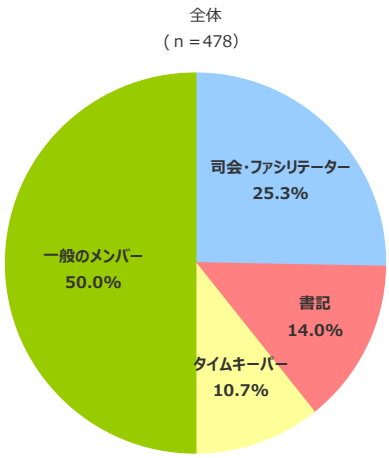
まず、グループワーク・ディスカッションを受けたことがある学生は78.5%だった（図11.1）。
「グループワーク・ディスカッションを受けたことがある」と回答した学生に、自身が担うことの多い役割を聞くと、「司会・ファシリテーター」25.3%、「書記」14.0%、「タイムキーパー」10.7%、「一般のメンバー」50.0%と回答しており、特に役割を担わない学生も多いことがわかった（図11.2）。

属性別に見ると、内定獲得状況別では「内定あり」の学生が、就活取組姿勢別では「積極的」な学生において、「司会・ファシリテーター」を回答した割合が他の学生よりも高くなっていた（表11）。

【図11.1】グループワーク・ディスカッション経験




【図11.2】グループワーク・ディスカッションでの役割




【表11】グループワーク・ディスカッションでの役割：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 司会・ファシリテーター (%) | 書記 (%) | タイムキーパー (%) | 一般のメンバー (%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体（n＝478） | | 25.3 | 14.0 | 10.7 | 50.0 |
| 男女別 | 男性（n＝188） | 31.9 | 5.9 | 13.8 | 48.4 |
| | 女性（n＝290） | 21.0 | 19.3 | 8.6 | 51.0 |
| 文理別 | 文系（n＝369） | 23.8 | 15.2 | 11.1 | 49.9 |
| | 理系（n＝109） | 30.3 | 10.1 | 9.2 | 50.5 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝252） | 25.0 | 14.3 | 11.1 | 49.6 |
| | 中小企業志向（n＝136） | 25.0 | 17.6 | 11.8 | 45.6 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝90） | 26.7 | 7.8 | 7.8 | 57.8 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝293） | 27.6 | 13.7 | 8.9 | 49.8 |
| | 内定なし（n＝185） | 21.6 | 14.6 | 13.5 | 50.3 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝352） | 28.4 | 14.8 | 10.8 | 46.0 |
| | 消極的（n＝126） | 16.7 | 11.9 | 10.3 | 61.1 |

12

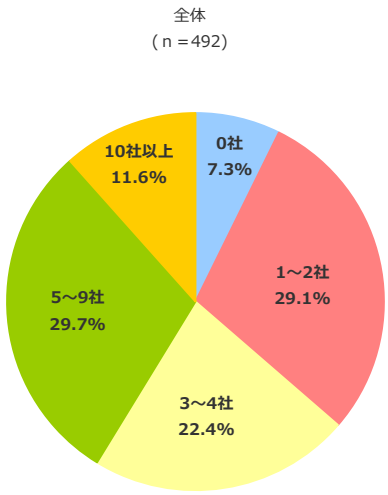
# 現在選考中の企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、就職活動を継続している学生に対し、 6月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「5～9社」と回答した学生が最も多く、29.7%となっている（図12.1）。

平均は4.4社だった。属性別に見ると、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で平均5社を超えている。内定獲得状況別では「内定なし」の学生で平均社数が多くなっている。（表12）。

時系列で見ると、前回調査の平均6.3社から1.9社の減少となった。5月1日までは前年とほぼ同様の動きだったが、ここに来て減少幅が一気に大きくなっており、就職活動の収束が急速に進んでいるようだ（図12.2）。

【図12.1】現在選考中の企業数

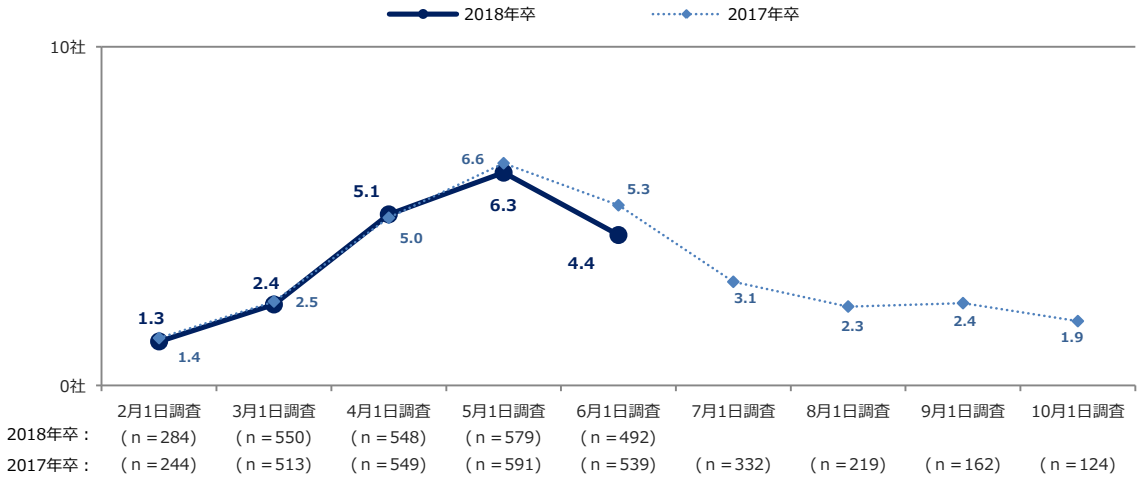



【表12】現在選考中の企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 0社 (%) | 1～2社 (%) | 3～4社 (%) | 5～9社 (%) | 10社以上 (%) | 平均 (社) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝492）** | | **7.3** | **29.1** | **22.4** | **29.7** | **11.6** | ***4.4*** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝539） | | 5.9 | 25.4 | 21.2 | 30.1 | 17.4 | *5.3* |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝547） | | 4.8 | 25.4 | 25.8 | 23.0 | 21.0 | *5.6* |
| 男女別 | 男性（n＝192） | 7.3 | 27.1 | 24.0 | 30.2 | 11.5 | *4.6* |
| | 女性（n＝300） | 7.3 | 30.3 | 21.3 | 29.3 | 11.7 | *4.4* |
| 文理別 | 文系（n＝384） | 6.8 | 27.1 | 21.6 | 32.0 | 12.5 | *4.7* |
| | 理系（n＝108） | 9.3 | 36.1 | 25.0 | 21.3 | 8.3 | *3.7* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝241） | 2.5 | 23.7 | 21.6 | 36.9 | 15.4 | *5.4* |
| | 中小企業志向（n＝142） | 12.0 | 33.8 | 23.9 | 23.9 | 6.3 | *3.3* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝109） | 11.9 | 34.9 | 22.0 | 21.1 | 10.1 | *3.7* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝220） | 5.9 | 30.0 | 22.7 | 32.3 | 9.1 | *4.3* |
| | 内定なし（n＝272） | 8.5 | 28.3 | 22.1 | 27.6 | 13.6 | *4.6* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝323） | 4.6 | 24.5 | 20.1 | 35.0 | 15.8 | *5.2* |
| | 消極的（n＝169） | 12.4 | 37.9 | 26.6 | 19.5 | 3.6 | *2.9* |

【図12.2】現在選考中の企業数／平均：時系列、前年調査との比較



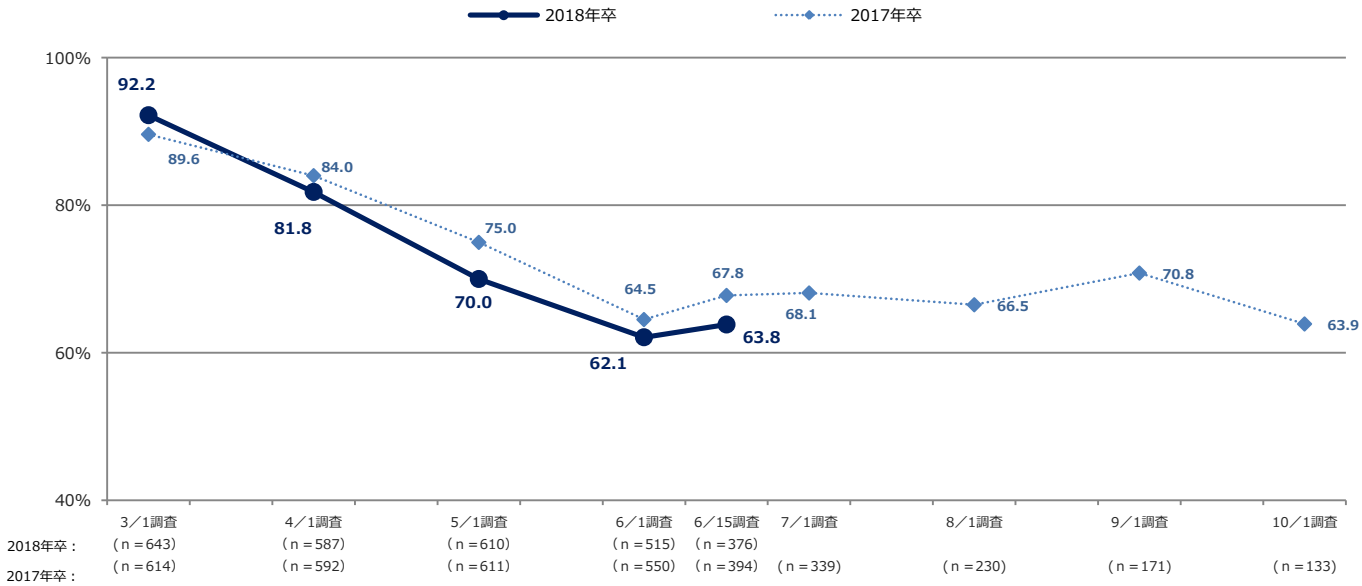

 ©AIDEM Inc.

# 13 企業への新たな応募予定（6月）

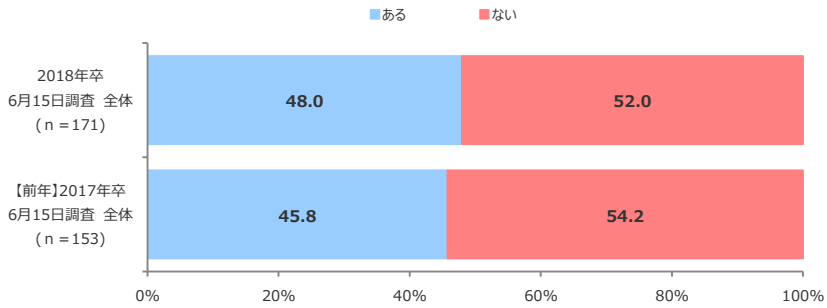
「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」または「内定獲得／就活終了段階」を回答した学生を除いて 、6月1日時点、6月15日時点の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。6月1日時点では、「ある」と回答した学生は62.1%で、3月1日調査から引き続き減少傾向となった。しかし、6月15日調査では調査開始以来初の増加に転じ、63.8%となった。6月1日の選考活動解禁で内定を獲得する学生が増える一方、志望企業から思うような選考結果を得られなかった学生もおり、新たに応募活動を行なう学生が増えたことが推測される。
前年調査と比較すると、数値は下回っている（図12.1）。

また、内定獲得者で新たに企業に応募する予定がある者は、6月15日調査では48.0%に上った。前年調査と比較すると2.2ポイントの微増となり、内定を保持しながら新規の応募活動を行なう学生も一定数いるようだ（図13.2）。

【図13.1】今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列、前年調査との比較




【図13.2】内定獲得者のうち、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：前年調査との比較



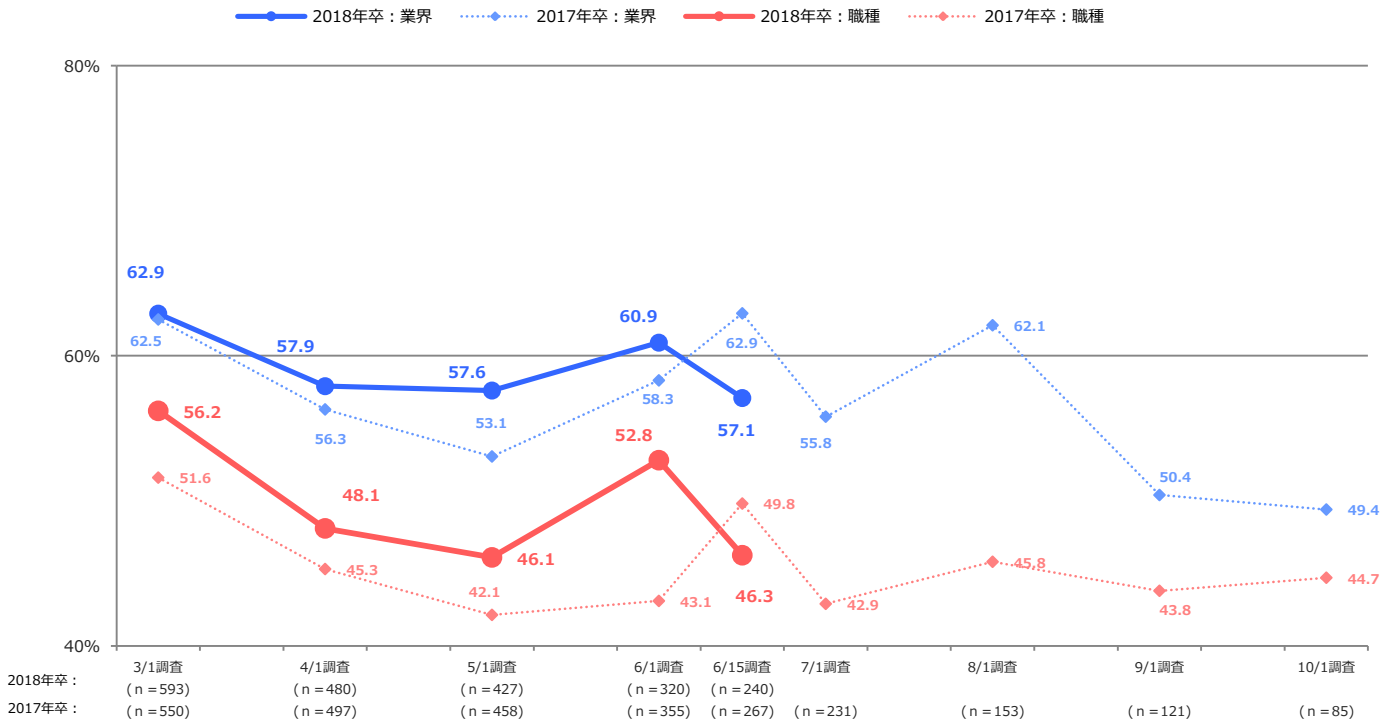
また、新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に対し、今まで“興味がなかった業界”や“興味がなかった職種”にも応募するかを聞いた。

今まで“興味がなかった業界”にも応募する予定が「ある」学生は、6月1日時点では60.9%に上り、初めて増加に転じたものの、6月15日調査では57.1%と再び減少傾向となった。

今まで“興味がなかった職種”にも応募する予定が「ある」学生も同様の傾向で、6月1日時点では52.8%と増加に転じたものの、6月15日調査では46.3%と再び減少傾向となった。

時系列で見ると、“興味がなかった業界または職種”に応募予定が「ある」と回答した学生の割合は、6月1日までは前年を上回る数値となっていた。しかし、減少のタイミングが7月１日だった前年に比べ、今年は進捗の順調さから約半月分早めの推移となっている（図13.3）。

【図13.3】興味がなかった業界や職種にも応募する予定があるか：時系列、前年調査との比較



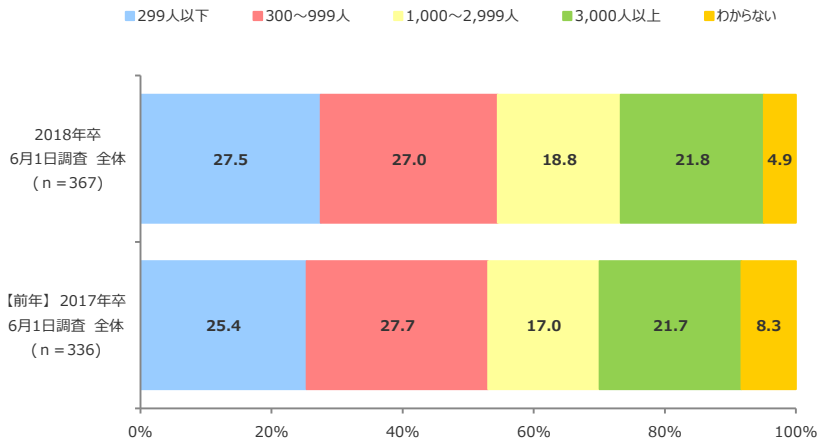
14

# 入社予定企業の従業員規模

「　2　内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業）の従業員規模を聞いた。「299人以下」と「300～999人」規模の企業に入社予定の学生が多く、それぞれ27.5%、27.0%に上っている（図14）。

男女別に見ると、女性は男性よりも「299人以下」規模の企業に入社予定である学生の割合が高い。
文理別で見ると、理系は「3,000人以上」の企業に入社予定の学生が33.3%と、文系学生の約2倍となっている。
企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生の約3割は999人以下の企業に入社予定であり、"6月1日時点では"自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない状況が生じている（表14）。

【図14】入社予定企業の従業員規模：前年調査との比較




【表14】入社予定企業の従業員規模：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | 299人以下 (%) | 300～999人 (%) | 1,000～3,000人 (%) | 3,000人以上 (%) | わからない (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝367）** | | **27.5** | **27.0** | **18.8** | **21.8** | **4.9** |
| 【前年】2017年卒 6月1日調査 全体（n＝336） | | 25.4 | 27.7 | 17.0 | 21.7 | 8.3 |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝194） | | 35.1 | 27.8 | 37.1 ※1 | | —※2 |
| 男女別 | 男性（n＝151） | 22.5 | 25.8 | 21.9 | 24.5 | 5.3 |
| | 女性（n＝216） | 31.0 | 27.8 | 16.7 | 19.9 | 4.6 |
| 文理別 | 文系（n＝247） | 32.0 | 29.1 | 17.4 | 16.2 | 5.3 |
| | 理系（n＝120） | 18.3 | 22.5 | 21.7 | 33.3 | 4.2 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝196） | 14.8 | 20.4 | 24.5 | 35.2 | 5.1 |
| | 中小企業志向（n＝104） | 48.1 | 35.6 | 6.7 | 5.8 | 3.8 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝67） | 32.8 | 32.8 | 20.9 | 7.5 | 6.0 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝276） | 25.4 | 25.4 | 21.0 | 24.6 | 3.6 |
| | 消極的（n＝91） | 34.1 | 31.9 | 12.1 | 13.2 | 8.8 |

※1　2016年卒調査は「1,000人以上」という選択肢で聴取
※2　2016年卒調査は「わからない」は聴取していない


©AIDEM Inc.

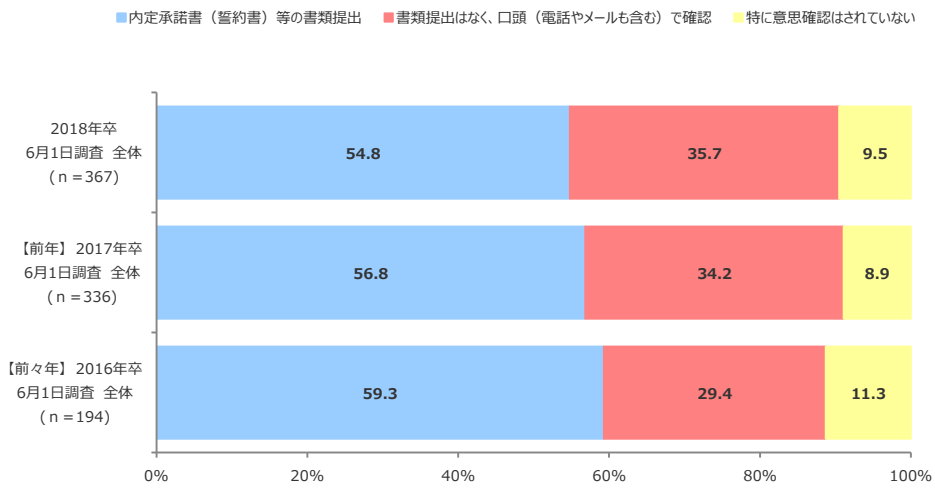
15

# 内定企業からの意思確認

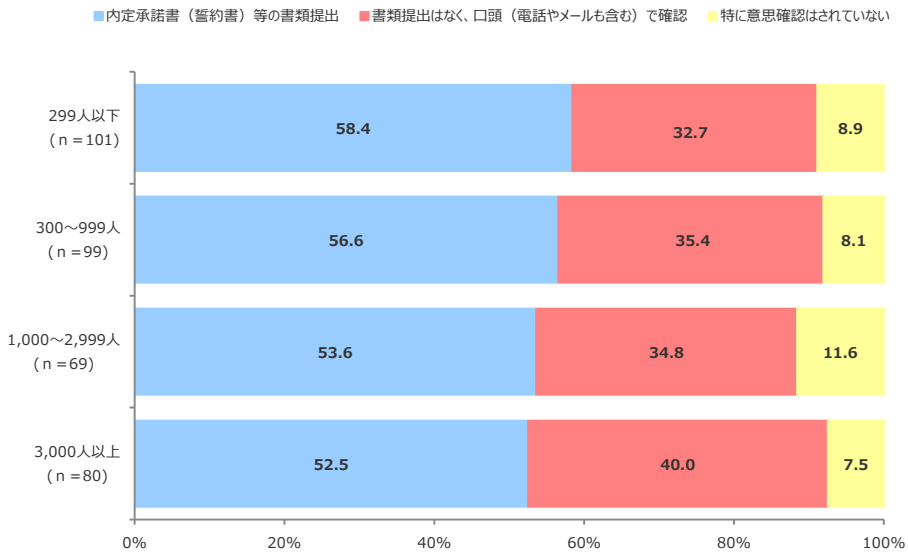
「　2　内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に対し、内定企業から入社の意思をどのような形で確認されたかを聞いた（複数内定獲得者は、最も多かった確認方法を回答）。54.8%の学生が、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」を求められたとしている。他は、「書類提出はなく、口頭（電話やメールも含む）で確認」が35.7%、「特に意思確認はされていない」が9.5%だった。前年調査と比較すると、大きな差はないが、前々年調査からは、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」の回答割合が減り、「書類提出はなく、口頭（電話やメールも含む）で確認」 が増える傾向にあった（図15.1）。

「　14　入社予定企業の従業員規模」との関係を見ると、企業規模の小さい企業に入社予定の学生ほど、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」 の回答割合が高くなっていた。中小企業ほど、内定者の入社の確約を書類提出という形に残るもので得たいと考えている傾向があるようだ（図15.2）。

【図15.1】内定企業から入社意思をどのような形で確認されたか：前年調査、前々年調査との比較




【図15.2】内定企業から入社意思をどのような形で確認されたか：入社予定企業の従業員規模別　（※「わからない」の回答者を除く）





©AIDEM Inc.

16

# 内定企業への入社意思表示

「 15 内定企業からの意思確認」において、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」または「書類提出はなく、口頭（電話やメールも含む）で確認」 を回答した学生に、「内定を獲得した月（※1）」と内定企業から求められた「入社意思表示の期限（※2）」を聞いた（複数内定獲得者は、最も入社したい1社を想定して回答）。「内定を獲得した月」は、5月が58.1%で最多、「入社意思表示の期限」は6月が47.0%で最多となっている（図16.1）。

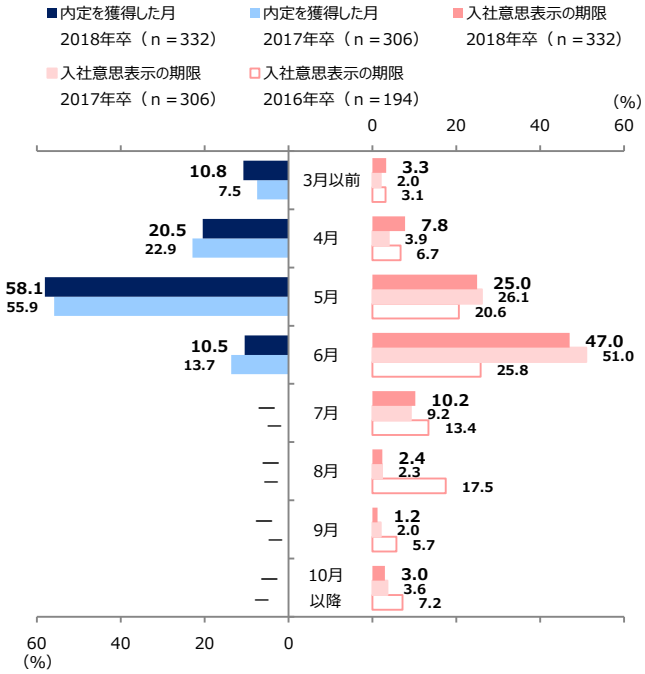
これらの相関を見ると、「内定を獲得した月」が「3月以前」の学生の63.9%は、「入社意思表示の期限」が「4月」以前となっている。しかし、「4月」以降に内定を獲得した学生では、「6月」までを「入社意思表示の期限」とされている者が多く、「6月」が1つの区切りとなっているようだ（表16）。

また、内定企業から入社の意思表示を求められたことに対し、実際に入社の意思表示をしたかを聞いた。すでに「入社する旨の意思表示をした」学生は55.4%だった。「まだ意思表示をしていない」学生も41.3%に上り、約4割の学生は返答を保留しているようだ（図16.2）。

また、「入社する旨の意思表示をした」学生について、「 13 企業への新たな応募予定（6月）」との関係を見た。「入社する旨の意思表示をした」にもかかわらず、6月1日時点で、6月に新たに企業に応募する予定が「ある」と回答していた学生は43.1%に上り、前年から微増した。内定が出た企業に対しては前向きな返事をしながらも、就職活動を継続している学生の本音と建前が垣間見える結果となった（図16.3）。

※1 ※2 聴取した期間 2018年卒調査「2017年3月以前」～「2017年10月以降」 2017年卒調査「2016年3月以前」～「2016年10月以降」
2016年卒調査「2015年3月以前」～「2015年10月以降」

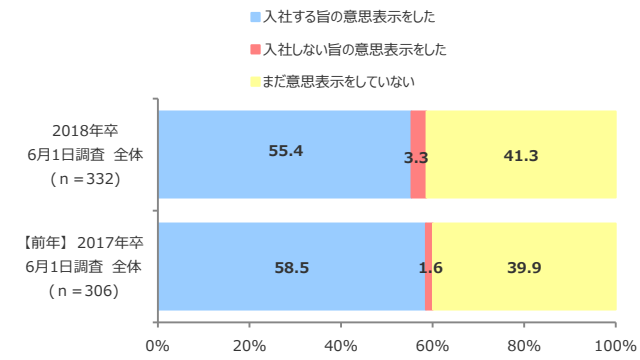
【図16.1】内定を獲得した月、入社意思表示の期限
：前年調査、前々年調査との比較



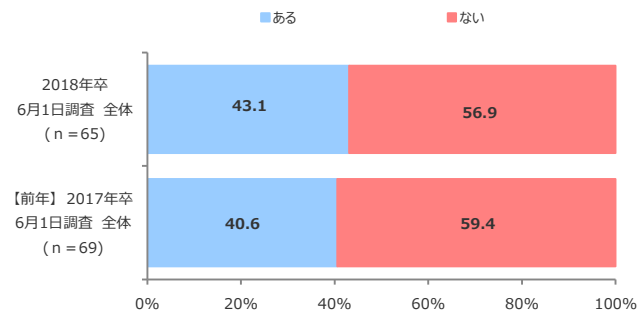

【表16】入社意思表示の期限：内定を獲得した月別

| | | | 入社意思表示の期限 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2017年 | | | | | | | |
| n=30以上で<br>全体＋10pt以上<br>全体＋5pt以上<br>全体－5pt以下<br>全体－10pt以下 | | | 3月以前 (%) | 4月 (%) | 5月 (%) | 6月 (%) | 7月 (%) | 8月 (%) | 9月 (%) | 10月以降 (%) |
| 全体 （n＝332） | | | 3.3 | 7.8 | 25.0 | 47.0 | 10.2 | 2.4 | 1.2 | 3.0 |
| 内定を獲得した月 | 2017年 | 3月以前（n＝36） | 30.6 | 33.3 | 2.8 | 19.4 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 5.6 |
| | | 4月（n＝68） | － | 20.6 | 33.8 | 32.4 | 10.3 | 0.0 | 1.5 | 1.5 |
| | | 5月（n＝193） | － | － | 30.6 | 51.3 | 10.4 | 3.6 | 1.0 | 3.1 |
| | | 6月（n＝35） | － | － | － | 80.0 | 17.1 | 0.0 | 0.0 | 2.9 |

【図16.2】入社意思表示をしたか：前年調査との比較




【図16.3】入社意思表示をした学生のうち、6月に新たに企業に
応募する予定がある者の割合：前年調査との比較





©AIDEM Inc.

17

# 内定企業への満足度

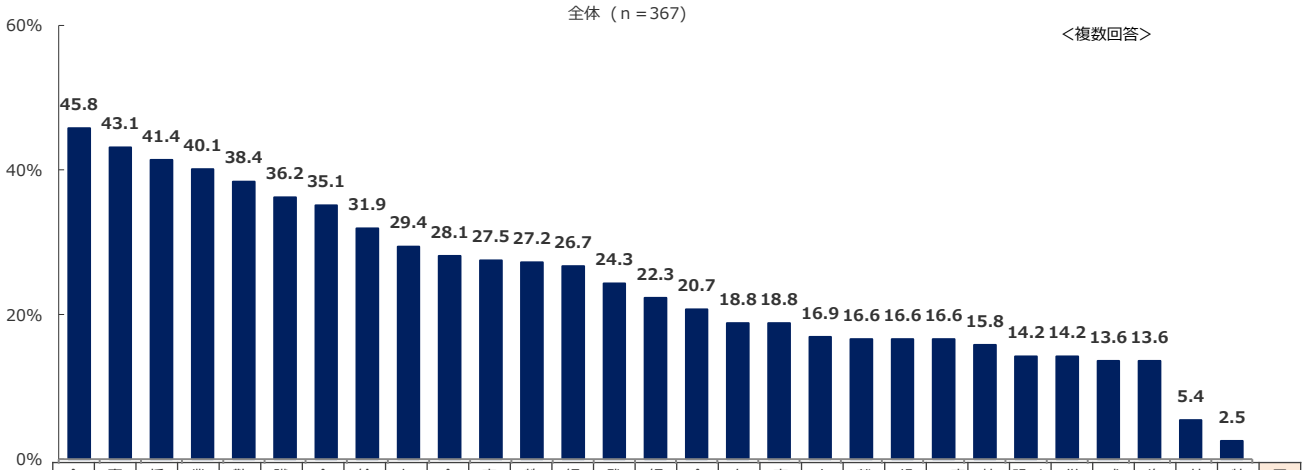
「　2　内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に 、内定企業に対し満足しているものを聞いた（複数内定獲得者は、最も入社したい1社を想定して回答）。最も回答を集めたのは、「会社・社員の雰囲気」で45.8%だった。次いで、「事業内容」43.1%、「採用担当者の人柄」41.1%、「業界」40.1%となっている。

属性別に見ると、男女別では、それぞれ上位項目が異なっていた。男性は、1位「事業内容」、2位「業界」、3位「会社・社員の雰囲気」、女性は、1位「会社・社員の雰囲気」、2位「採用担当者の人柄」、3位「勤務地」でそれぞれ男性の回答割合よりも大幅に高い。男女で、満足するポイントが異なっていることがうかがえる。

文理別では、理系は「事業内容」「職種」「企業の安定性」の回答割合が全体、文系よりも大幅に高い。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は、「企業の安定性」「企業の知名度」「上場企業であること」が、他の学生よりも高くなっており、やはり企業ステイタスを重要していることがわかる。一方「中小企業志向」の学生は、「会社・社員の雰囲気」「採用担当者の人柄」「経営者の魅力」等の回答割合が高いのが特徴である（図17）。

【図17】内定企業への満足度：属性別




| | | 会社・社員の雰囲気 (%) | 事業内容 (%) | 採用担当者の人柄 (%) | 業界 (%) | 勤務地 (%) | 職種 (%) | 企業の安定性 (%) | 給与 (%) | 年間休日数 (%) | 企業規模 (%) | 商品・サービス (%) | 教育・研修制度 (%) | 経営戦略・ビジョン (%) | 残業時間数 (%) | 経営者の魅力 (%) | 企業の知名度 (%) | 有給休暇取得率 (%) | 育児・介護支援 (%) | 上場企業であること (%) | 離職率 (%) | 親や周りの意見 (%) | 直近の業績（売上高、営業利益等） (%) | 社会貢献活動の実績 (%) | キャリアルートが明確であること (%) | 従業員の平均年齢 (%) | 成果主義であること (%) | 海外展開していること (%) | 外資系企業であること (%) | 特になし (%) | 平均回答個数 (個) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体（n＝367) | | 45.8 | 43.1 | 41.4 | 40.1 | 38.4 | 36.2 | 35.1 | 31.9 | 29.4 | 28.1 | 27.5 | 27.2 | 26.7 | 24.3 | 22.3 | 20.7 | 18.8 | 18.8 | 16.9 | 16.6 | 16.6 | 16.6 | 15.8 | 14.2 | 14.2 | 13.6 | 13.6 | 5.4 | 2.5 | 7.0 |
| 男女別 | 男性（n＝151) | 38.4 | 44.4 | 33.1 | 39.7 | 28.5 | 33.8 | 36.4 | 26.5 | 27.8 | 27.2 | 21.2 | 21.9 | 23.2 | 21.9 | 16.6 | 18.5 | 16.6 | 9.3 | 17.9 | 17.2 | 9.9 | 16.6 | 13.9 | 15.2 | 13.2 | 14.6 | 11.3 | 6.0 | 4.0 | 6.2 |
| | 女性（n＝216) | 50.9 | 42.1 | 47.2 | 40.3 | 45.4 | 38.0 | 34.3 | 35.6 | 30.6 | 28.7 | 31.9 | 31.0 | 29.2 | 25.9 | 26.4 | 22.2 | 20.4 | 25.5 | 16.2 | 16.2 | 21.3 | 16.7 | 17.1 | 13.4 | 14.8 | 13.0 | 15.3 | 5.1 | 1.4 | 7.6 |
| 文理別 | 文系（n＝247) | 47.0 | 37.7 | 44.9 | 36.4 | 37.2 | 30.8 | 30.0 | 28.7 | 26.7 | 29.6 | 25.9 | 27.5 | 27.5 | 21.5 | 23.5 | 19.8 | 17.4 | 19.4 | 13.8 | 14.6 | 15.8 | 15.4 | 13.4 | 13.4 | 13.8 | 13.8 | 12.6 | 4.5 | 2.0 | 6.6 |
| | 理系（n＝120) | 43.3 | 54.2 | 34.2 | 47.5 | 40.8 | 47.5 | 45.8 | 38.3 | 35.0 | 25.0 | 30.8 | 26.7 | 25.0 | 30.0 | 20.0 | 22.5 | 21.7 | 17.5 | 23.3 | 20.8 | 18.3 | 19.2 | 20.8 | 15.8 | 15.0 | 13.3 | 15.8 | 7.5 | 3.3 | 7.8 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝196) | 44.9 | 42.9 | 37.2 | 42.3 | 37.8 | 39.3 | 42.9 | 35.2 | 31.6 | 31.6 | 27.6 | 28.1 | 26.5 | 25.0 | 18.9 | 29.1 | 23.0 | 20.4 | 23.5 | 17.9 | 18.9 | 19.9 | 16.8 | 15.3 | 13.3 | 14.8 | 16.3 | 6.6 | 2.6 | 7.5 |
| | 中小企業志向（n＝104) | 51.0 | 37.5 | 50.0 | 35.6 | 44.2 | 34.6 | 24.0 | 34.6 | 31.7 | 26.0 | 28.8 | 33.7 | 26.9 | 23.1 | 30.8 | 11.5 | 12.5 | 19.2 | 10.6 | 16.3 | 19.2 | 11.5 | 15.4 | 14.4 | 17.3 | 13.5 | 12.5 | 5.8 | 1.0 | 6.9 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝67) | 40.3 | 52.2 | 40.3 | 40.3 | 31.3 | 29.9 | 29.9 | 17.9 | 19.4 | 20.9 | 25.4 | 14.9 | 26.9 | 23.9 | 19.4 | 10.4 | 16.4 | 13.4 | 7.5 | 13.4 | 6.0 | 14.9 | 13.4 | 10.4 | 11.9 | 10.4 | 7.5 | 1.5 | 4.5 | 5.7 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝276) | 48.6 | 44.6 | 44.6 | 42.4 | 41.3 | 38.0 | 38.0 | 33.0 | 30.1 | 31.2 | 29.7 | 28.6 | 28.3 | 25.4 | 24.6 | 23.6 | 21.4 | 21.4 | 19.6 | 19.2 | 18.5 | 17.4 | 17.4 | 17.4 | 15.6 | 15.2 | 15.9 | 5.8 | 2.2 | 7.6 |
| | 消極的（n＝91) | 37.4 | 38.5 | 31.9 | 33.0 | 29.7 | 30.8 | 26.4 | 28.6 | 27.5 | 18.7 | 20.9 | 23.1 | 22.0 | 20.9 | 15.4 | 12.1 | 11.0 | 11.0 | 8.8 | 8.8 | 11.0 | 14.3 | 11.0 | 4.4 | 9.9 | 8.8 | 6.6 | 4.4 | 3.3 | 5.3 |


©AIDEM Inc.

# 18 内定企業に物足りないもの

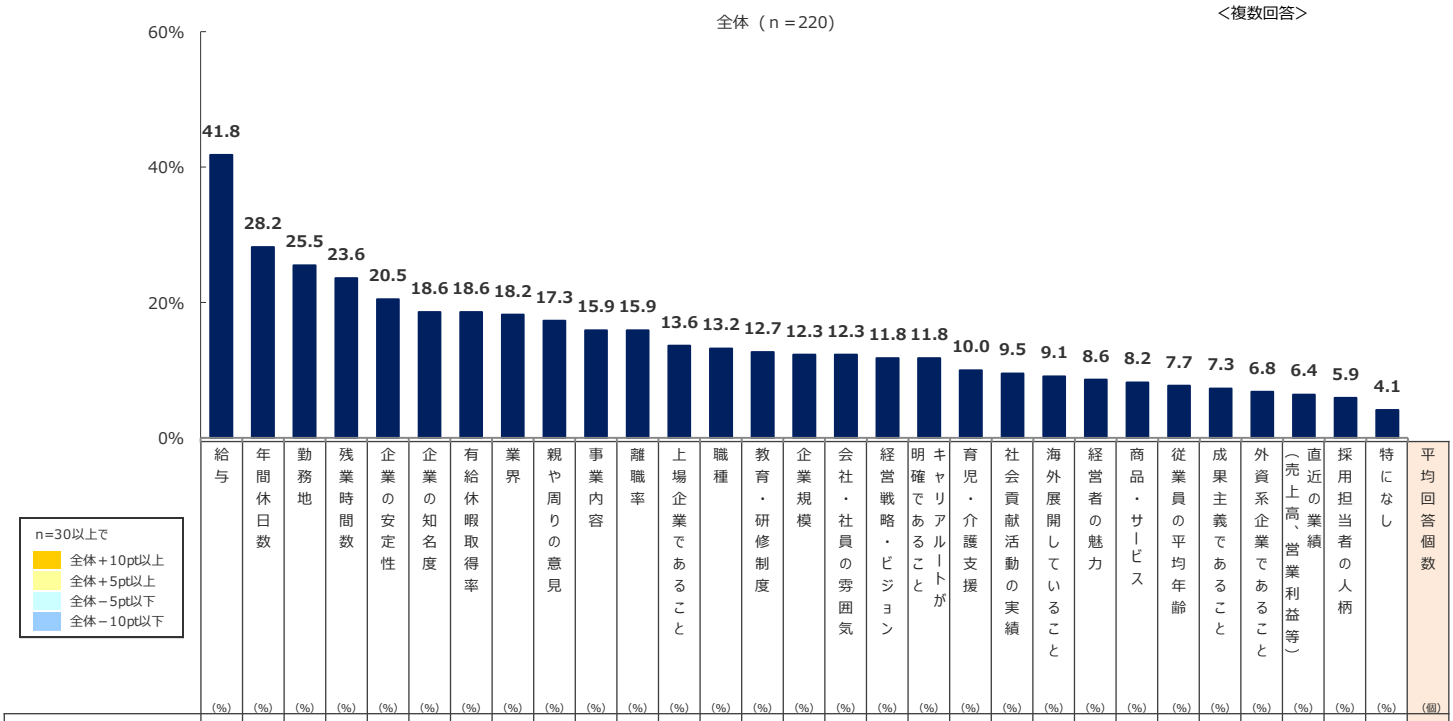
「　2　内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生で、かつ、就職活動を継続している学生に 、現在の内定先の条件に比べてどのような条件をより強く望んで・求めて就職活動を行なっているのかを聞いた。最も回答を集めたのは「給与」で、41.8%と突出していた。次いで、「年間休日数」28.2%、「勤務地」25.5%、「残業時間数」23.6%となり、労働条件に関する項目が多い。

属性別に見ると、男女別では、女性は男性よりも「育児・介護支援」の条件がより良い企業を求めて就職活動を継続している学生の割合が高くなっていた。

文理別では、文系は、理系よりも平均回答個数が1.5個多く、より多くの条件を求めて就職活動を行なっている傾向がある。

企業規模に対する志向別に見ると、「企業の規模は全く意識していない」学生は、その他の学生に比べて「給与」「勤務地」「事業内容」「教育・研修制度」が好条件な企業を望んでいるようだ（図18）。

【図18】内定企業に物足りないもの：属性別



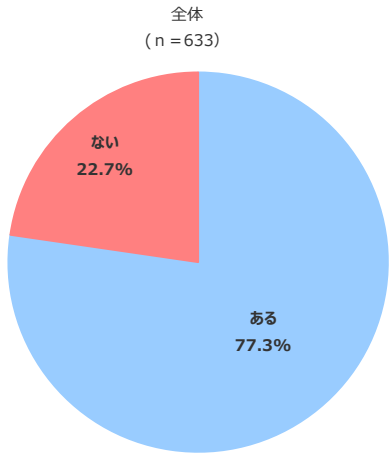

| | | 給与 (%) | 年間休日数 (%) | 勤務地 (%) | 残業時間数 (%) | 企業の安定性 (%) | 企業の知名度 (%) | 有給休暇取得率 (%) | 業界 (%) | 親や周りの意見 (%) | 事業内容 (%) | 離職率 (%) | 上場企業であること (%) | 職種 (%) | 教育・研修制度 (%) | 企業規模 (%) | 会社・社員の雰囲気 (%) | 経営戦略・ビジョン (%) | キャリアルートが明確であること (%) | 育児・介護支援 (%) | 社会貢献活動の実績 (%) | 海外展開していること (%) | 経営者の魅力 (%) | 商品・サービス (%) | 従業員の平均年齢 (%) | 成果主義であること (%) | 外資系企業であること (%) | 直近の業績（売上高、営業利益等） (%) | 採用担当者の人柄 (%) | 特になし (%) | 平均回答個数 (個) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体（n＝220） | | 41.8 | 28.2 | 25.5 | 23.6 | 20.5 | 18.6 | 18.6 | 18.2 | 17.3 | 15.9 | 15.9 | 13.6 | 13.2 | 12.7 | 12.3 | 12.3 | 11.8 | 11.8 | 10.0 | 9.5 | 9.1 | 8.6 | 8.2 | 7.7 | 7.3 | 6.8 | 6.4 | 5.9 | 4.1 | 4.1 |
| 男女別 | 男性（n＝92） | 44.6 | 23.9 | 20.7 | 18.5 | 21.7 | 15.2 | 18.5 | 15.2 | 15.2 | 14.1 | 16.3 | 14.1 | 10.9 | 10.9 | 12.0 | 7.6 | 13.0 | 12.0 | 2.2 | 12.0 | 10.9 | 9.8 | 6.5 | 6.5 | 6.5 | 5.4 | 7.6 | 7.6 | 4.3 | 3.8 |
| | 女性（n＝128） | 39.8 | 31.3 | 28.9 | 27.3 | 19.5 | 21.1 | 18.8 | 20.3 | 18.8 | 17.2 | 15.6 | 13.3 | 14.8 | 14.1 | 12.5 | 15.6 | 10.9 | 11.7 | 15.6 | 7.8 | 7.8 | 7.8 | 9.4 | 8.6 | 7.8 | 7.8 | 5.5 | 4.7 | 3.9 | 4.3 |
| 文理別 | 文系（n＝167） | 43.1 | 32.3 | 27.5 | 26.9 | 22.8 | 21.6 | 19.8 | 20.4 | 16.2 | 15.6 | 18.6 | 14.4 | 13.8 | 13.8 | 13.8 | 15.0 | 12.0 | 12.0 | 11.4 | 10.8 | 9.6 | 8.4 | 8.4 | 9.6 | 9.0 | 7.2 | 6.0 | 6.0 | 3.0 | 4.5 |
| | 理系（n＝53） | 37.7 | 15.1 | 18.9 | 13.2 | 13.2 | 9.4 | 15.1 | 11.3 | 20.8 | 17.0 | 7.5 | 11.3 | 11.3 | 9.4 | 7.5 | 3.8 | 11.3 | 11.3 | 5.7 | 5.7 | 7.5 | 9.4 | 7.5 | 1.9 | 1.9 | 5.7 | 7.5 | 5.7 | 7.5 | 3.0 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝118） | 44.1 | 26.3 | 22.0 | 28.0 | 22.0 | 23.7 | 19.5 | 20.3 | 17.8 | 15.3 | 14.4 | 15.3 | 13.6 | 11.9 | 16.9 | 11.9 | 13.6 | 10.2 | 10.2 | 10.2 | 10.2 | 9.3 | 8.5 | 6.8 | 8.5 | 8.5 | 5.9 | 7.6 | 1.7 | 4.3 |
| | 中小企業志向（n＝61） | 31.1 | 31.1 | 26.2 | 19.7 | 21.3 | 16.4 | 19.7 | 18.0 | 13.1 | 11.5 | 19.7 | 11.5 | 13.1 | 9.8 | 8.2 | 18.0 | 6.6 | 13.1 | 14.8 | 4.9 | 8.2 | 6.6 | 8.2 | 8.2 | 4.9 | 4.9 | 8.2 | 6.6 | 6.6 | 3.8 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝41） | 51.2 | 29.3 | 34.1 | 17.1 | 14.6 | 7.3 | 14.6 | 12.2 | 22.0 | 24.4 | 14.6 | 12.2 | 12.2 | 19.5 | 4.9 | 4.9 | 14.6 | 14.6 | 2.4 | 14.6 | 7.3 | 9.8 | 7.3 | 9.8 | 7.3 | 4.9 | 4.9 | 0.0 | 7.3 | 3.9 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝169） | 43.2 | 30.8 | 26.6 | 26.0 | 21.9 | 20.7 | 20.7 | 17.2 | 18.9 | 16.0 | 17.8 | 16.0 | 14.2 | 15.4 | 12.4 | 13.6 | 14.2 | 13.6 | 10.7 | 11.8 | 11.2 | 9.5 | 8.9 | 9.5 | 8.9 | 8.9 | 7.7 | 6.5 | 1.8 | 4.5 |
| | 消極的（n＝51） | 37.3 | 19.6 | 21.6 | 15.7 | 15.7 | 11.8 | 11.8 | 21.6 | 11.8 | 15.7 | 9.8 | 5.9 | 9.8 | 3.9 | 11.8 | 7.8 | 3.9 | 5.9 | 7.8 | 2.0 | 2.0 | 5.9 | 5.9 | 2.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 3.9 | 11.8 | 2.8 |

19

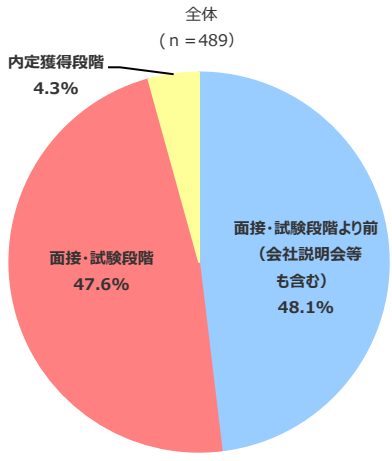
# 応募当初よりも志望度が上がった企業はあるか

「　8　応募企業数」において、「1社」以上と回答した学生に、企業の選考を受ける中で応募当初よりも志望度が上がった企業があるかを聞いた。結果は、「ある」と回答した学生が77.3%だった（図19.1）。
　また、志望度が上がった企業が「ある」と回答した学生に、志望度が上がったのはどの段階のときだったかを聞くと、「面接・試験段階よりも前（会社説明会等も含む）」48.1%、「面接・試験段階」47.6%、「内定獲得段階」4.3%となっていた（図19.2）。

【図19.1】応募当初よりも志望度が上がった企業はあるか




【図19.2】志望度が上がったのはどの段階か



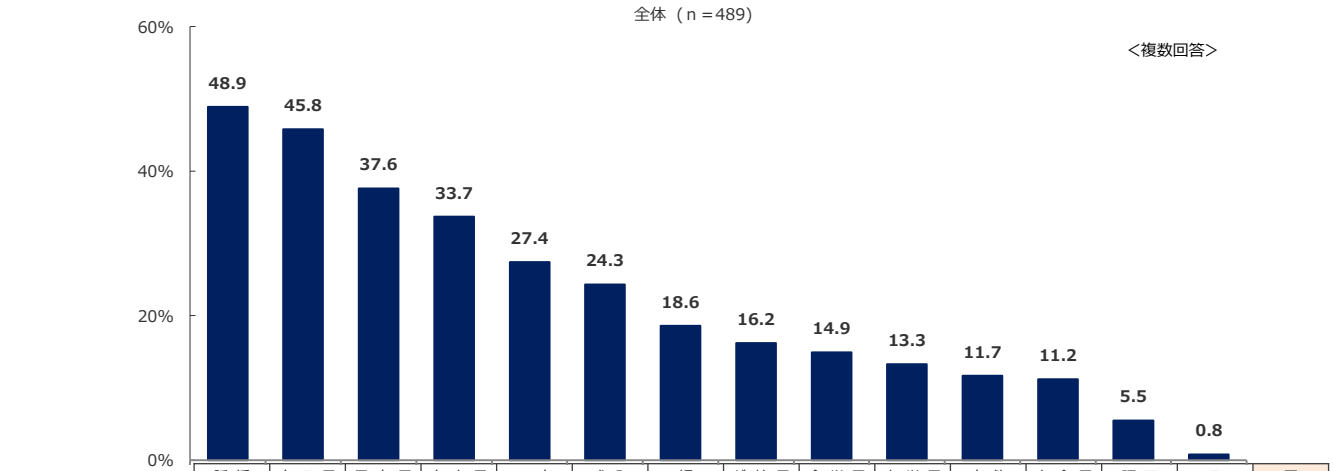


©AIDEM Inc.

さらに、志望度が上がった企業が「ある」と回答した学生に、その理由を聞いた（応募当初よりも志望度が上がった企業が複数ある場合は、その中で最も志望度が高い企業について回答）。上位には、「採用担当者や他の社員の話や態度が良かったから」48.9%、「思っていたよりも、その企業の社員の雰囲気が自分に合いそうだったから」45.8%、「思っていたよりも、自分がやってみたいと思える仕事だったから」37.6%、「思っていたよりも、その企業の文化や価値観などの雰囲気が自分に合いそうだったから」33.7%が挙がり、社員や社風に触れることで、志望度が上がることが多いようだ。

また、志望度が上がった段階別で見ると、「面接・試験段階」で志望度が上がった学生は、「自分のことを評価してくれているのがわかったから」が34.3%で3位となっていた。選考過程において、企業からフィードバックや期待感を伝えられることで、志望度が高まる学生が多いようだ（図19.3）。

【図19.3】応募当初よりも志望度が上がった企業はあるか：志望度が上がった段階別




| | | 採用担当者や他の社員の話や態度が良かったから (%) | 思っていたよりも、その企業の社員の雰囲気が自分に合いそうだったから (%) | 思っていたよりも、自分がやってみたいと思える仕事だったから (%) | 思っていたよりも、その企業の文化や価値観などの雰囲気が自分に合いそうだったから (%) | 自分のことを評価してくれているのがわかったから (%) | 入社後に成長できそうだったから (%) | 経営者の話や態度が良かったから (%) | 思っていたよりも、社会的に意義のある企業・仕事だったから (%) | 思っていたよりも、労働条件等が自分の希望に合っていたから (%) | 思っていたよりも、労働条件等が他社より良かったから (%) | 他の応募者の雰囲気が自分に合いそうだったから (%) | 思っていたよりも、会社の立地・建物・設備などが良かったから (%) | 口コミサイトや周囲の人からの評判が良かったから (%) | その他 (%) | 平均回答個数 (個) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体（n＝489） | | 48.9 | 45.8 | 37.6 | 33.7 | 27.4 | 24.3 | 18.6 | 16.2 | 14.9 | 13.3 | 11.7 | 11.2 | 5.5 | 0.8 | *3.1* |
| 志望度が上がった段階別 | 面接・試験段階より前（会社説明会等も含む）（n＝235） | 47.7 | 40.0 | 46.4 | 36.6 | 19.1 | 25.1 | 14.5 | 18.3 | 18.7 | 17.0 | 11.9 | 11.9 | 6.0 | 0.4 | *3.1* |
| | 面接・試験段階（n＝233） | 51.5 | 52.4 | 30.0 | 32.2 | 34.3 | 23.6 | 24.0 | 14.6 | 11.6 | 9.9 | 11.6 | 10.3 | 4.7 | 1.3 | *3.1* |
| | 内定獲得段階（n＝21） | 33.3 | 38.1 | 23.8 | 19.0 | 42.9 | 23.8 | 4.8 | 9.5 | 9.5 | 9.5 | 9.5 | 14.3 | 9.5 | 0.0 | *2.5* |

20

# 好印象な採用担当者とは

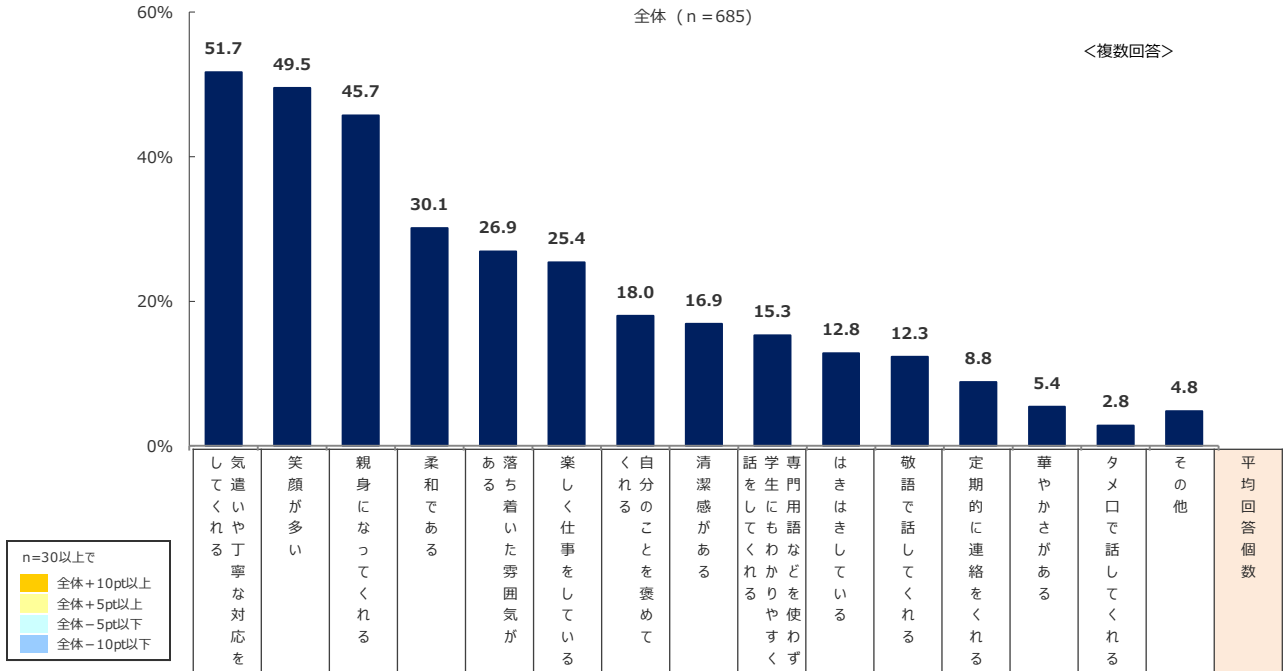
学生に、今までに好印象を抱いた採用担当者はどのような人物だったかを聞いた（実際に採用担当者に接したことがない者は、どのような採用担当者だったら好印象を抱くかについて回答）。最も多かったのは「気遣いや丁寧な対応をしてくれる」で51.7%だった。次いで、「笑顔が多い」49.5%、「親身になってくれる」45.7%となっている。

男女別で見ると、女性は「気遣いや丁寧な対応をしてくれる」「笑顔が多い」「楽しく仕事をしている」において男性よりも回答割合が約10ポイント高くなっていた。

内定獲得状況別で見ると、「内定あり」の学生は「内定なし」の学生よりも平均回答個数が多い。また、「自分のことを褒めてくれる」の回答割合が約2倍になっていた。

採用担当者の人柄や印象は、就職活動のさまざまな場面において学生が重視する項目として上位に挙がっているが、具体的には、上記のようなポイントが印象を左右しているようだ（図20）。

【図20】好印象を持った採用担当者はどのような人物だったか：属性別




| | | 気遣いや丁寧な対応をしてくれる (%) | 笑顔が多い (%) | 親身になってくれる (%) | 柔和である (%) | 落ち着いた雰囲気がある (%) | 楽しく仕事をしている (%) | 自分のことを褒めてくれる (%) | 清潔感がある (%) | 専門用語などを使わず、学生にもわかりやすく話をしてくれる (%) | はきはきしている (%) | 敬語で話してくれる (%) | 定期的に連絡をくれる (%) | 華やかさがある (%) | タメ口で話してくれる (%) | その他 (%) | 平均回答個数 (個) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **全体（n＝685）** | | **51.7** | **49.5** | **45.7** | **30.1** | **26.9** | **25.4** | **18.0** | **16.9** | **15.3** | **12.8** | **12.3** | **8.8** | **5.4** | **2.8** | **4.8** | ***3.3*** |
| 男女別 | 男性（n＝270） | 45.6 | 43.7 | 43.0 | 26.3 | 25.9 | 19.3 | 18.5 | 18.1 | 14.1 | 15.2 | 16.7 | 12.2 | 4.8 | 2.2 | 5.6 | *3.1* |
| | 女性（n＝415） | 55.7 | 53.3 | 47.5 | 32.5 | 27.5 | 29.4 | 17.6 | 16.1 | 16.1 | 11.3 | 9.4 | 6.5 | 5.8 | 3.1 | 4.3 | *3.4* |
| 文理別 | 文系（n＝499） | 53.1 | 49.5 | 47.5 | 28.9 | 26.7 | 26.1 | 17.4 | 17.6 | 16.6 | 13.0 | 13.0 | 8.8 | 5.6 | 3.4 | 4.4 | *3.3* |
| | 理系（n＝186） | 47.8 | 49.5 | 40.9 | 33.3 | 27.4 | 23.7 | 19.4 | 15.1 | 11.8 | 12.4 | 10.2 | 8.6 | 4.8 | 1.1 | 5.9 | *3.1* |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝333） | 49.5 | 52.0 | 43.5 | 29.7 | 27.6 | 24.0 | 18.3 | 18.0 | 12.0 | 13.5 | 11.1 | 8.7 | 4.8 | 3.0 | 3.0 | *3.2* |
| | 中小企業志向（n＝200） | 56.0 | 50.5 | 48.0 | 30.5 | 28.0 | 26.0 | 20.5 | 18.5 | 19.5 | 13.0 | 11.0 | 7.0 | 6.0 | 2.5 | 3.5 | *3.4* |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝152） | 50.7 | 42.8 | 47.4 | 30.3 | 23.7 | 27.6 | 13.8 | 12.5 | 17.1 | 11.2 | 16.4 | 11.2 | 5.9 | 2.6 | 10.5 | *3.2* |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 57.8 | 55.9 | 53.1 | 33.0 | 29.2 | 27.5 | 23.4 | 16.6 | 12.8 | 15.5 | 12.8 | 11.4 | 4.6 | 2.7 | 2.2 | *3.6* |
| | 内定なし（n＝318） | 44.7 | 42.1 | 37.1 | 26.7 | 24.2 | 23.0 | 11.6 | 17.3 | 18.2 | 9.7 | 11.6 | 5.7 | 6.3 | 2.8 | 7.9 | *2.9* |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝444） | 53.6 | 53.4 | 48.0 | 28.2 | 26.6 | 26.8 | 20.9 | 18.7 | 14.2 | 15.5 | 12.8 | 10.1 | 5.6 | 2.5 | 2.5 | *3.4* |
| | 消極的（n＝241） | 48.1 | 42.3 | 41.5 | 33.6 | 27.4 | 22.8 | 12.4 | 13.7 | 17.4 | 7.9 | 11.2 | 6.2 | 5.0 | 3.3 | 9.1 | *3.0* |

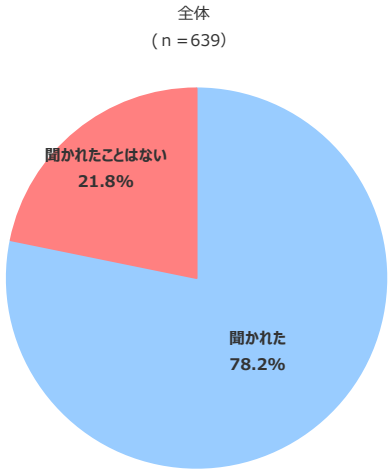
21

# 第一志望“以外”の企業への対応

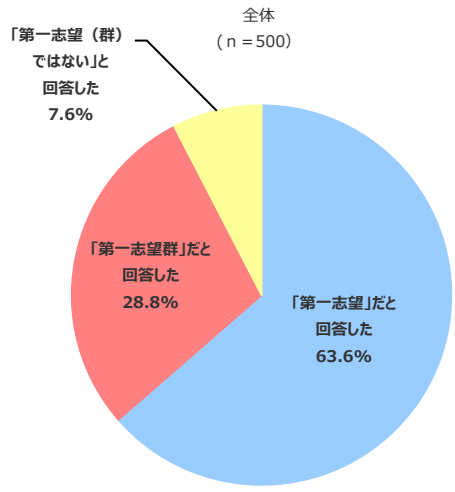
「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、第一志望“以外”の企業から「自社が第一志望か」と聞かれた場合に、どのように回答したかを聞いた。まず、第一志望“以外”の企業から「自社が第一志望か」と聞かれたことのある学生は78.2%だった（図21.1）。

「聞かれた」と回答した学生に、その際の回答内容を聞くと、「『第一志望』だと回答した」学生が63.6%、「『第一志望群』だと回答した」学生が28.8%、「『第一志望（群）ではない』と回答した」学生は7.6%となり、学生の建前がうかがえる結果となった（図21.2）。

【図21.1】第一志望“以外”の企業に「自社が第一志望か」と聞かれたことがあるか




【図21.2】第一志望“以外”の企業に「自社が第一志望か」と聞かれたときの回答



22

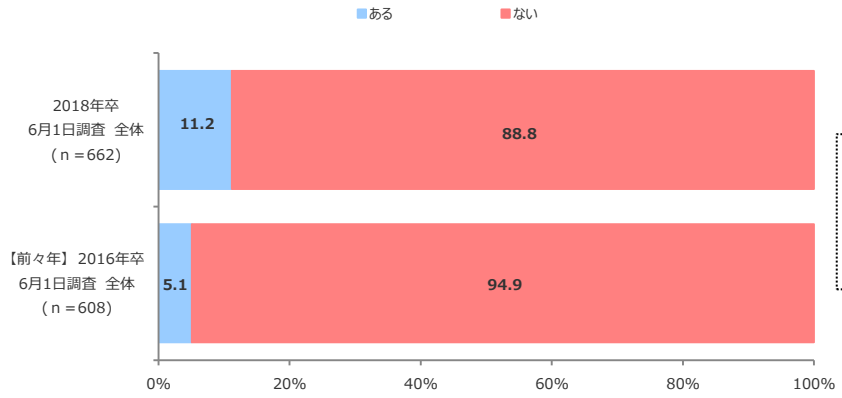
# 「オワハラ」経験の有無

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、「オワハラ」をされた経験があるかを聞いた。「ある」と回答した学生は全体の11.2%となり、前々年調査から倍増した（図22）。

内定獲得状況別では、オワハラ経験のある学生は、「内定あり」で13.6%、「内定なし」で8.1%となった。「内定あり」に比べて少ないものの、「内定なし」でも、一定数の学生はオワハラを経験しているようだ（表22）。

オワハラ：
「就活終われハラスメント」を略した言葉。
企業の人事担当者が、就職活動中の学生に対し、他社への就活を終わらせて(内定を断らせて)、
自社への入社を決断するように強要したり、嫌がらせをしたりする行為。

【図22】「オワハラ」経験の有無：前々年調査との比較




【参考】
前年調査（2017年卒：n＝648）は、5月1日に聴取し、以下の結果となっている

「ある」6.3%
「ない」93.7%

【表22】「オワハラ」経験の有無：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

| | | ある (%) | ない (%) |
|---|---|---|---|
| **2018年卒 6月1日調査 全体（n＝662）** | | **11.2** | **88.8** |
| 【前々年】2016年卒 6月1日調査 全体（n＝608） | | 5.1 | 94.9 |
| 男女別 | 男性（n＝259） | 12.7 | 87.3 |
| | 女性（n＝403） | 10.2 | 89.8 |
| 文理別 | 文系（n＝480） | 10.4 | 89.6 |
| | 理系（n＝182） | 13.2 | 86.8 |
| 企業規模に対する志向別 | 大企業志向（n＝326） | 16.0 | 84.0 |
| | 中小企業志向（n＝195） | 8.2 | 91.8 |
| | 企業の規模は全く意識していない（n＝141） | 4.3 | 95.7 |
| 内定獲得状況別 | 内定あり（n＝367） | 13.6 | 86.4 |
| | 内定なし（n＝295） | 8.1 | 91.9 |
| 就活取組姿勢別 | 積極的（n＝437） | 12.6 | 87.4 |
| | 消極的（n＝225） | 8.4 | 91.6 |

23

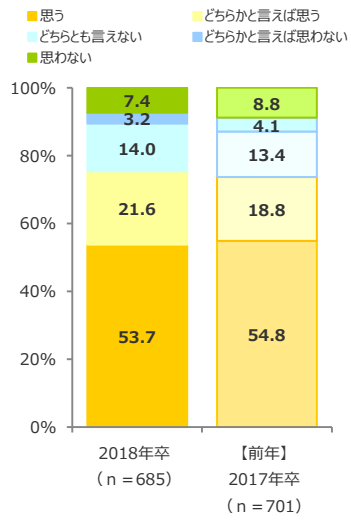
# 育児休業等の利用意向

学生に、将来的に育児のための制度（「育児休業」「時短勤務」「残業の免除」）を利用したいか聞いた。「育児休業」については、「利用したいと思う」と回答した学生が53.7%に上った。「どちらかと言えば利用したいと思う」も含めると、75.3%の学生に利用意向があった。「時短勤務」「残業の免除」も概ね同様の傾向で、7割以上の学生に利用意向がある（図23.1、図23.2、図23.3）。

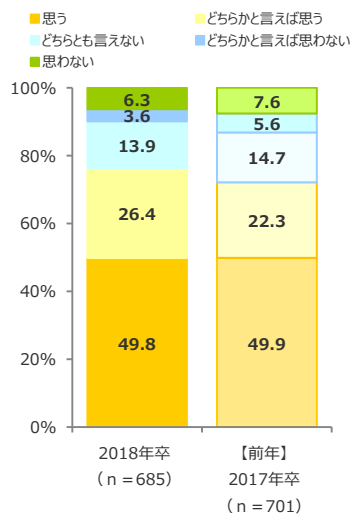
男女別に見ると、各制度に対する「利用したいと思う」と「どちらかと言えば利用したいと思う」を合わせた利用意向は、女性の方が圧倒的に高く、それぞれ8割以上だった。とはいえ、男性の利用意向は前年よりも増加しており、特に「育児休業」では9.0ポイント、「時短勤務」で10.2ポイントの大幅増となった。「残業の免除」も微増となり、約6割の男性に育児諸制度に対する利用意向がある。

さらに、女性に対して、各制度をパートナー（夫）に利用してほしいか聞いた。「育児休業」では58.3%、「時短勤務」では51.3%、「残業の免除」では58.8%の女性が、パートナー（夫）に制度を利用してほしいと回答した。回答割合は前年と同等か微減となり、男性に対する期待が薄れた様子もうかがえる（図23.4、図23.5、図23.6）。

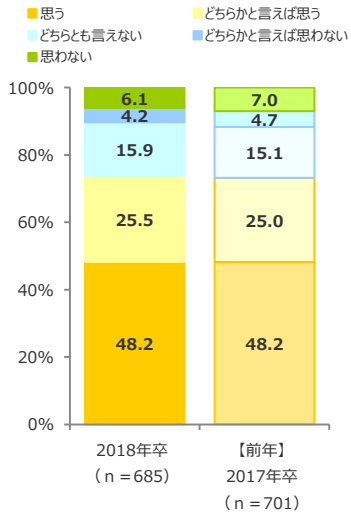
【図23.1】育児休業の利用意向
：前年調査との比較



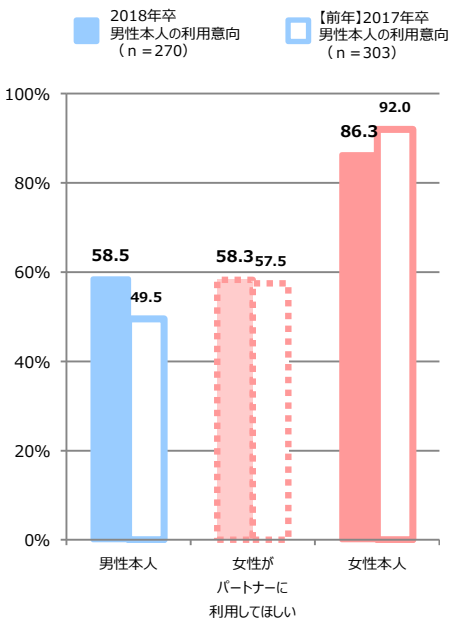

【図23.2】時短勤務の利用意向
：前年調査との比較



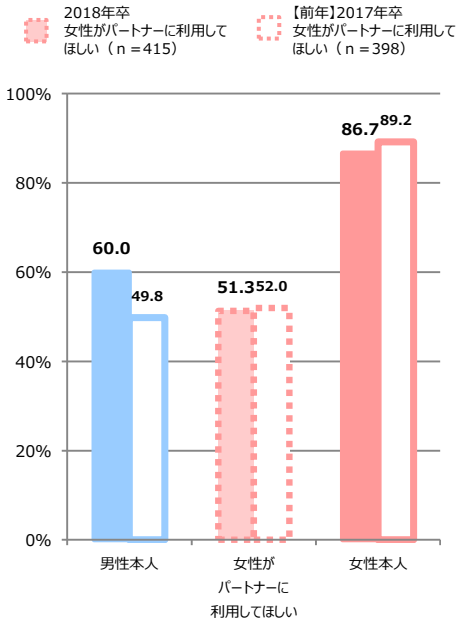

【図23.3】残業の免除の利用意向
：前年調査との比較

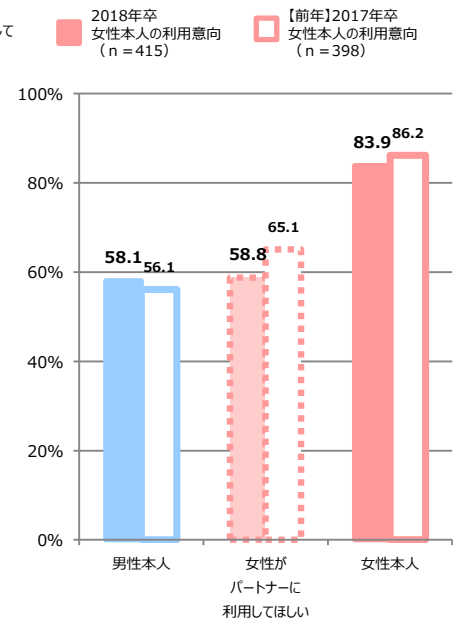



【図23.4】育児休業の利用意向
：男女別、前年調査との比較




【図23.5】時短勤務の利用意向
：男女別、前年調査との比較




【図23.6】残業の免除の利用意向
：男女別、前年調査との比較